

福島県
県民の生涯学習意識調査

—調査結果報告書—

令和3年3月

福島県

<目次>

I	調査概要.....	1
II	調査結果概要.....	3
1	最近の生涯学習活動について.....	3
2	今後の生涯学習について.....	4
3	居住地域における生涯学習について.....	4
4	生涯学習を通じて学んだことへの評価について.....	5
5	生涯学習に関する情報の入手方法について.....	5
III	調査結果.....	7
1	回答者のプロフィール.....	7
2	最近の生涯学習活動について.....	9
3	今後の生涯学習について.....	17
4	居住地域における生涯学習について.....	21
5	生涯学習を通じて学んだことへの評価について.....	28
6	生涯学習に関する情報の入手方法について.....	31
7	県への意見や要望について.....	39
IV	使用した調査票.....	43
	県民の生涯学習意識調査 調査票.....	43

I 調査概要

1 調査の目的

本調査は、福島県生涯学習基本計画を策定するにあたり、県民の生涯学習に対する関心や生涯学習活動の内容を把握することで、県民の生涯学習活動の実態や、県の生涯学習施策における課題を明らかにすることを目的として実施した。

2 調査期間

令和2年10月26日（月）～令和2年11月16日（月）

※集計処理にあたっては、令和2年12月2日（水）着分の調査票まで含めた

3 調査対象

県内59市町村に在住する満18歳以上の県民 1,989名

4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

調査種別	配布数①	総回収数	有効回収数②	有効回収率 ②／①
県民の生涯学習意識調査	1,989件	963件	960件	48.3%

6 調査結果の見方

- (1) 調査数（ $n = \text{number of cases}$ ）は比率算出の基数であり、100.0%が何人の回答に相当するかを示す。
- (2) 回答の構成比は百分率であらわし、小数点第2位を四捨五入して算出している。したがって、単一回答形式の質問においては、回答比率を合計しても100.0%にならない場合がある。また、回答者が2つ以上の回答をすることができる複数回答形式の質問においては、各設問の調査数を基数として算出するため、全ての選択肢の比率を合計すると100.0%を超える。
- (3) 調査数（ n ）が少数の場合、統計上の回答構成比の信頼性が低いため、文章中の分析を省略している場合がある。
- (4) 図表及び本文で、選択肢の語句等を一部簡略化している場合がある。
- (5) 前回調査では無回答のある回収票は全て無効票として処理をしていたため、前回調査結果の無回答が0.0%となっている。

Ⅱ 調査結果概要

1 最近の生涯学習活動について

- ◆ この1年間で生涯学習をしたことがあるかについて、「ある」と回答した方は前回の調査結果と比較すると、5.5ポイント減の36.9%となっているものの、約3人に1人は生涯学習をしたことがある状況となっている。(P.9)
- ◆ 生涯学習の内容について、「健康・スポーツ」が39.8%と最も高く、次いで「職業上必要な知識・技能」(35.9%)、「趣味的なもの」(32.2%)となっている。前回の調査結果と比較すると、「職業上必要な知識・技能」が12.8ポイント増となっている。(P.10)
- ◆ 生涯学習の目的について、「健康・体力づくりのため」が32.2%と最も高く、次いで「趣味を広げ深めるため」(30.8%)、「知識・教養を高めるため」(29.9%)となっている。前回の調査結果と比較すると、「仕事や就職・転職に役立てるため」が10.4ポイント増となっている。(P.11)
- ◆ 生涯学習方法について、「講座や教室、研究会などに参加して」が52.5%と最も高く、次いで「本やテレビ・ラジオを利用して」(31.4%)、「同好のサークル・クラブや友人・知人・家族と一緒に」(30.8%)となっている。前回の調査結果と比較すると、「インターネットやパソコン通信など情報ネットワークを利用して」が15.5ポイント増、「本やテレビ・ラジオを利用して」が10.0ポイント増となっている。(P.12)
- ◆ 生涯学習を利用した施設(場所)について、「自宅」が47.2%と最も高く、次いで「公民館・図書館などの公共施設」(34.5%)、「スポーツ施設・公園・自然の中」(26.3%)となっている。前回の調査結果と比較すると、「自宅」が21.0ポイント増となっている。(P.13)
- ◆ 知識・技能や経験をどのように活かしているかについて、「仕事や就職の上で活かしている」と「自分の生きがいになっている」がともに37.3%と最も高く、次いで「自分の健康の維持・増進に役立っている」(36.4%)、「日常の生活や地域での活動に活かしている」(26.0%)となっている。前回の調査結果と比較すると、「仕事や就職の上で活かしている」が6.1ポイント増となっている。(P.14)
- ◆ 生涯学習をする上での困りごとについて、「仕事や家事などが忙しくて時間がない」が33.1%と最も高く、次いで「身近に適切な施設や場所が少ない」(19.5%)、「費用がかかりすぎる」(18.1%)となっている。(P.15)
- ◆ 生涯学習をしたことがない理由について、「仕事や家事などが忙しく時間がない」が47.2%と最も高く、次いで「きっかけがつかめない」(25.6%)、「費用がかかりすぎる」(13.1%)となっている。(P.16)

2 今後の生涯学習について

- ◆ 行政が力を入れるべき生涯学習分野について、「高齢化・介護」が 55.2%と最も高く、次いで「健康・福祉」(42.0%)、「感染症対策」(39.9%)となっている。前回の調査結果と比較すると、「情報・インターネット」が 12.7ポイント増となっている。(P. 17)
- ◆ 今後行いたい生涯学習について、「趣味的なもの」が 42.1%と最も高く、次いで「健康・スポーツ」(39.0%)、「情報社会で必要な知識・技能」(27.0%)となっている。(P. 18)
- ◆ 生涯学習をする希望時間帯について、「平日の午前」が 26.3%と最も高く、次いで「平日の午後」(22.5%)、「平日の夜間」(21.4%)となっている。(P. 19)
- ◆ 生涯学習にかかる1か月の平均費用について、現在は「3,000円未満」が 28.8%と最も高く、今後は「3,000円以上5,000円未満」が 34.4%と最も高くなっている。(P. 20)

3 居住地域における生涯学習について

- ◆ 公的機関の生涯学習に対する満足度について、前回の調査結果と比較すると、内容・費用・施設・時間帯の全ての項目で満足度が下がっているものの、民間の生涯学習に対する満足度では、費用の満足度が上がっている。(P. 21-22)
- ◆ 生涯学習をする上で、行政に期待することについて、「いろいろな学習やスポーツ・文化活動、ボランティア活動などの情報をもっと充実してほしい」が 36.7%と最も高く、次いで「料金を下げたり、利用時間を長くするなど、既にある施設を利用しやすくしてほしい」(29.8%)、「講座や教室、イベントの種類や回数を増やしてほしい」(25.0%)となっている。(P. 23)
- ◆ 生涯学習をする上で、学校や学校教員へ期待することについて、「図書館を利用したい」が 19.4%と最も高く、次いで「校庭や体育館、プールなどスポーツ施設を利用したい」(18.8%)、「音楽室や家庭科の実習室、パソコンルームなどを利用したい」(15.2%)となっている。(P. 24)
- ◆ 生涯学習をする上で、民間事業者に期待することについて、「講座や教室などの情報をもっとたくさん提供してほしい」が 32.8%と最も高く、次いで「講座や教室などの参加費用を安くしてほしい」(30.9%)、「講座や教室などの開催時間を柔軟にしてほしい」(23.0%)となっている。(P. 25)
- ◆ 生涯学習をする上で、企業に期待することについて、「資格取得に対する表彰や費用補助など、生涯学習活動を奨励してほしい」が 25.7%と最も高く、次いで「地域住民を対象とした研修会や講座などを開催してほしい」(23.3%)、「グラウンドや体育館、テニスコートなどのスポーツ施設を利用したい」(20.3%)となっている。(P. 26)

- ◆ 大学や短期大学などで希望する公開講座やセミナーの内容について、「日常生活に活かせる実用的な講座」が 42.7%と最も高く、次いで「資格取得のための講座」(27.9%)、「経済・社会などの最新の動向について、わかりやすく解説する講座」(24.0%)となっている。(P. 27)

4 生涯学習を通じて学んだことへの評価について

- ◆ 身につけた知識や技術を社会的に評価されることについて、どう思うかについて、「評価すべきものと、すべきでないものがある」が 24.3%と最も高く、次いで「一定水準以上のものを社会的に評価するのがよい」(18.6%)、「何らかの形で、すべて社会的に評価するのが望ましい」(9.9%)となっている。(P. 28)
- ◆ 身につけた知識や技術の評価の方法について、「修了証、認定証などを出す」が 49.8%と最も高く、次いで「会社等において、個人の処遇に反映させる」(29.0%)、「資格取得の際に、学習成果を考慮する」(22.8%)となっている。(P. 29)
- ◆ 学習成果の発表形式について、「学んだことを活かす機会が講座内に組み込まれている」が 25.8%と最も高く、次いで「地域で発表会、大会などを定期的を開催する」(20.4%)、「成果を発表できる場や機会を公共施設や学校などに設ける」(17.2%)となっている。前回の調査結果と比較すると、「市町村の広報誌などに成果を掲載する」が 11.5 ポイント減となっている。また、今回新規で追加した「学んだことを活かす機会が講座内に組み込まれている」が 25.8%と最も高くなっている。(P. 30)

5 生涯学習に関する情報の入手方法について

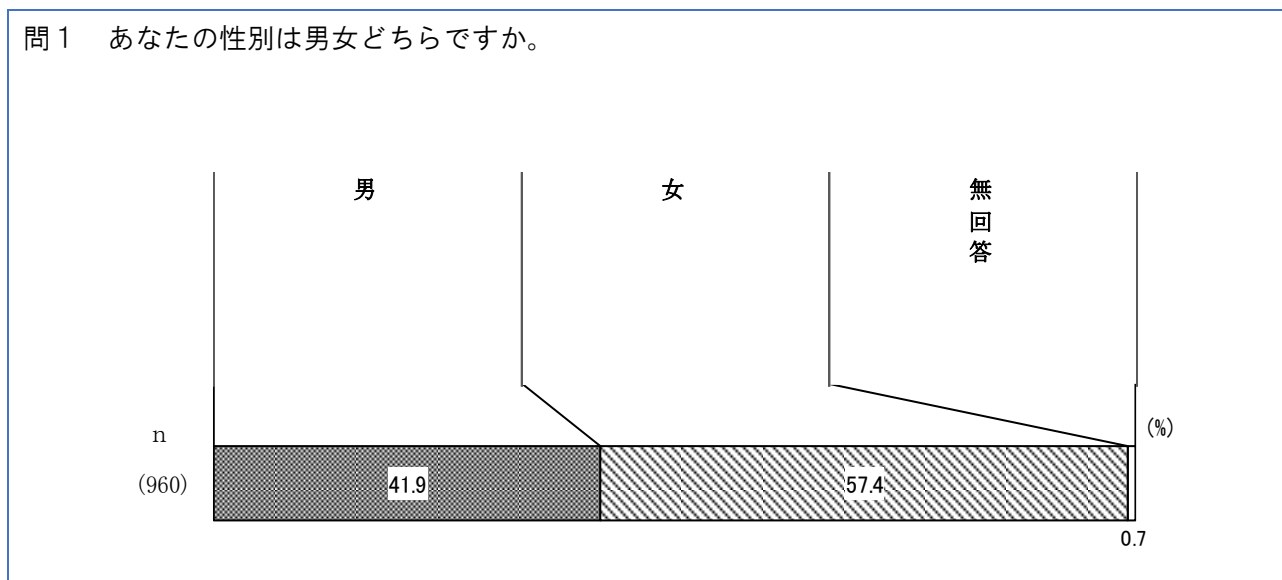
- ◆ 生涯学習についての情報をどの程度得ているかについて、「十分得ている」(1.0%)と「ある程度は得ている」(20.8%)を合わせた『情報を十分に得ている』が 21.8%、「あまり得ていない」(43.5%)と「全く得ていない」(29.8%)を合わせた『情報を十分に得ていない』が 73.3%となっている。(P. 31)
- ◆ 主な情報の入手先について、「県・市町村の広報誌」が 61.4%と最も高く、次いで「インターネット」(36.2%)、「公民館・図書館などの広報誌やパンフレット」(35.2%)となっている。前回の調査結果と比較すると、「インターネット」が 22.4 ポイント増となっている。(P. 32)
- ◆ 生涯学習情報提供システムを利用しているかについて、「知らないで利用したことがない」が 81.6%と最も高く、次いで「知っているが利用したことがない」(9.5%)となっている。(P. 33)
- ◆ 生涯学習情報提供システムにどのような印象を受けるかについて、「特になし」は 80.4%となっている。(P. 34)

- ◆ インターネットの利用頻度について、「ほぼ毎日利用している」が46.4%と最も高く、次いで「現在は利用していないし、今後も特に利用したいとは思わない」(19.3%)、「時々利用している」(15.9%)となっている。前回の調査結果と比較すると、「ほぼ毎日利用している」が28.7ポイント増となっている。(P. 35)
- ◆ インターネットを利用していない理由について、「パソコンを持っていない」が48.0%と最も高く、次いで「利用の仕方がわからない」(38.4%)、「通信費用が高い」(15.3%)となっている。(P. 35)
- ◆ 生涯学習をするとき、必要だと思われる情報(内容)について、「学級・講座の開設の時期・場所・内容」が57.2%と最も高く、次いで「行事やイベントの開設の時期・場所・内容」(49.5%)、「学習活動に要する費用」(41.8%)となっている。前回の調査結果と比較すると、「資格や免許の種類や取得方法」が11.4ポイント増、「学習活動に必要な教材等を入手できる場所や手続き」が8.2ポイント増となっている。(P. 36)
- ◆ eラーニングの経験有無について、「はい」が24.5%、「いいえ」が71.7%となっている。前回の調査結果と比較すると、「はい」が10.7ポイント増となっている。(P. 36)
- ◆ eラーニングでの学習内容について、「職業上必要な知識・技能」が70.2%と最も高く、次いで「情報社会に必要な知識・技能」(18.3%)、「趣味的なもの」(13.6%)となっている。前回の調査結果と比較すると、「職業上必要な知識・技能」が24.4ポイント増となっている。(P. 37)
- ◆ 今後の生涯学習情報の入手方法について、「県・市町村の広報誌」が55.4%と最も高く、次いで「インターネット」(44.1%)、「新聞・雑誌」(29.1%)となっている。前回の調査結果と比較すると、「インターネット」が13.6ポイント増となっている。(P. 38)

Ⅲ 調査結果

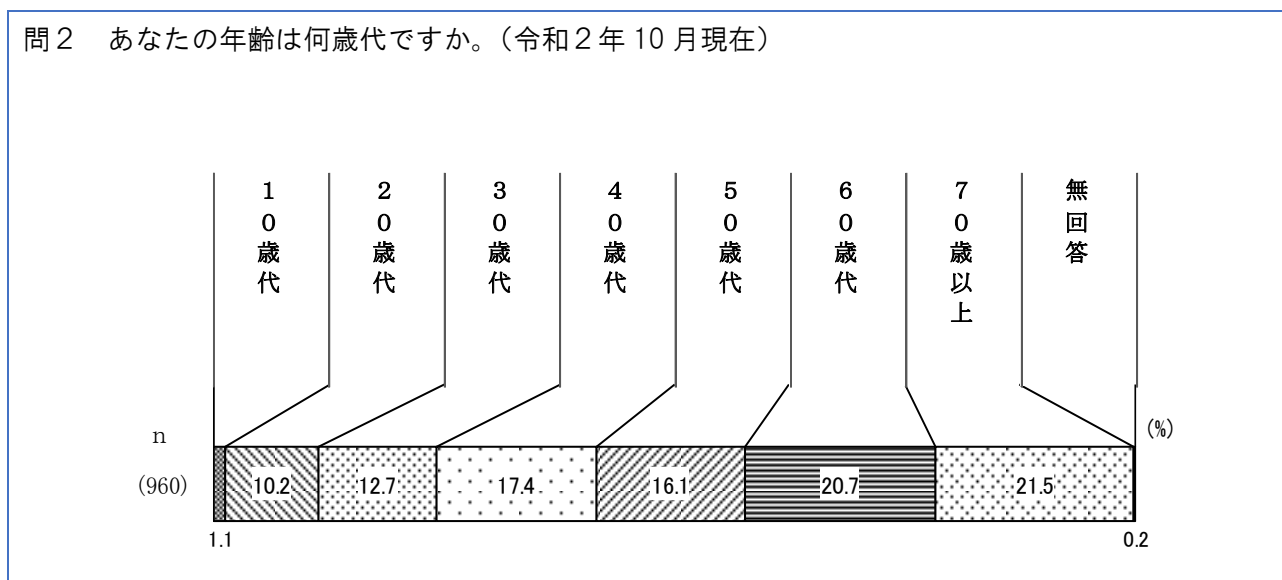
1 回答者のプロフィール

(1) 性別



性別について、「男性」が41.9%、「女性」が57.4%となっている。

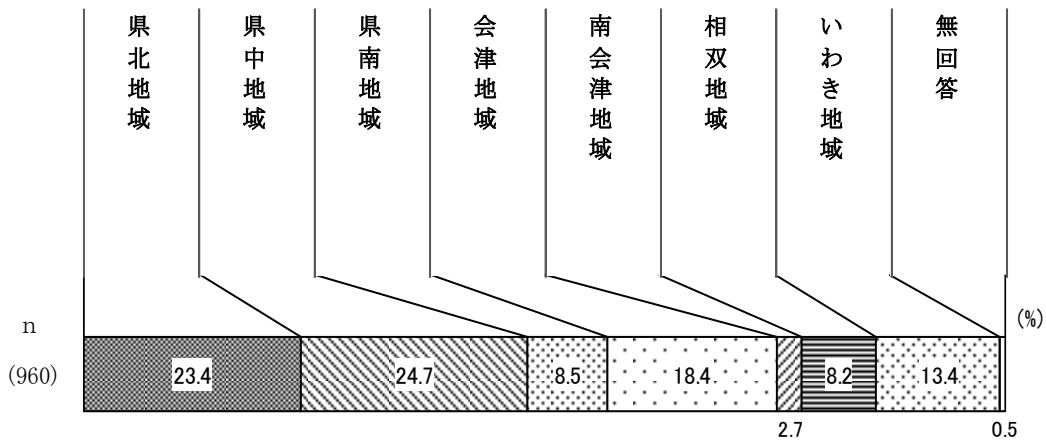
(2) 年齢



年齢について、「70歳以上」が21.5%と最も高く、次いで「60歳代」(20.7%)、「40歳代」(17.4%)となっている。

(3) 居住地

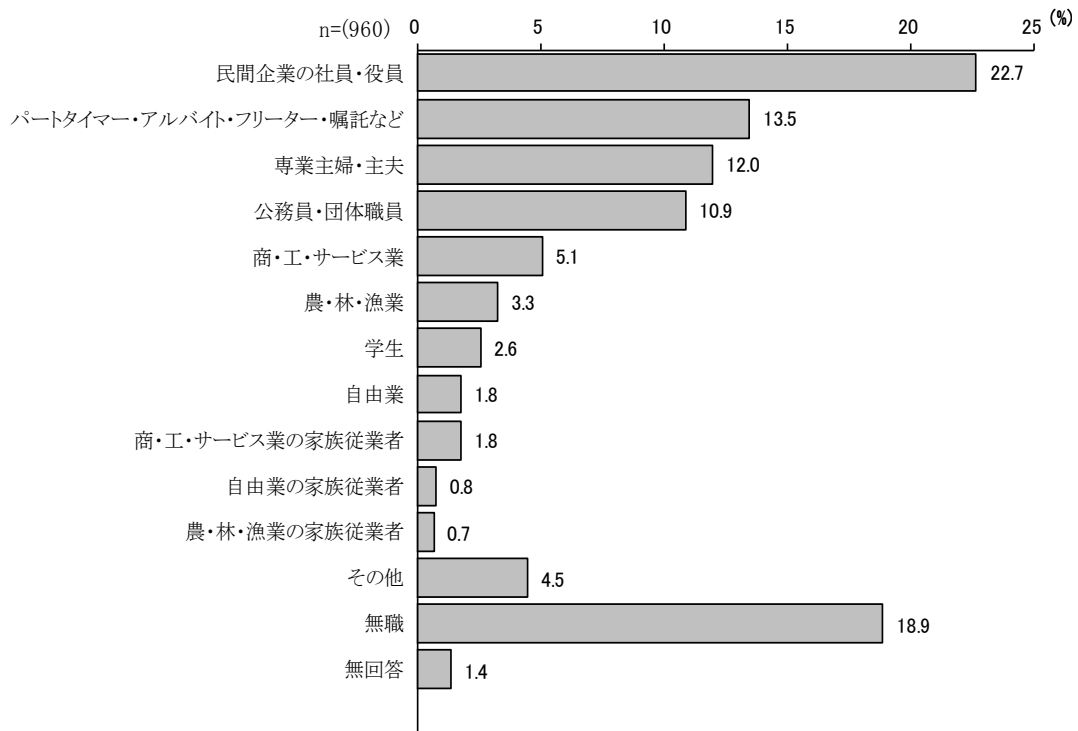
問3 あなたのお住まいはどの地域ですか。



居住地について、「県北地域」が 23.4%と最も高く、次いで「県中地域」(24.7%)、「会津地域」(18.4%)となっている。

(4) 職業

問4 あなたの職業は何ですか。

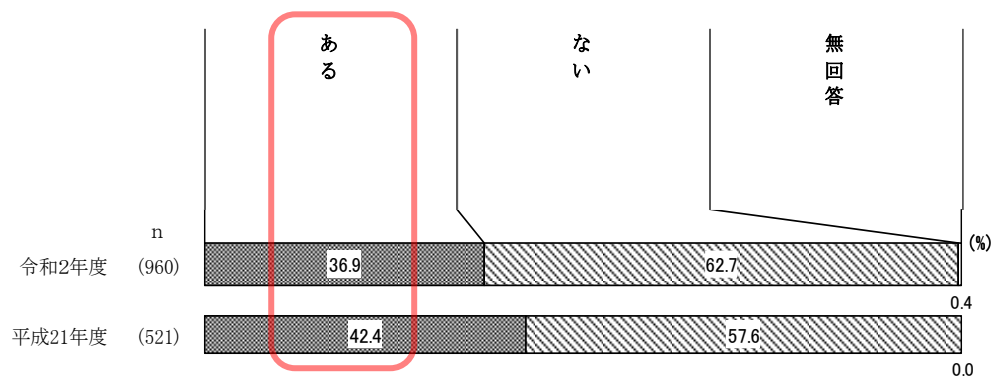


職業について、「民間企業の社員・役員」が 22.7%と最も高く、次いで「パートタイマー・アルバイト・フリーター・嘱託など」(13.5%)、「専業主婦・主夫」(12.0%)となっている。

2 最近の生涯学習活動について

(1) この1年間で生涯学習をしたことがあるか

問5 あなたはこの1年間学んだり、習ったり、活動するなど「生涯学習」をしたことがありますか。



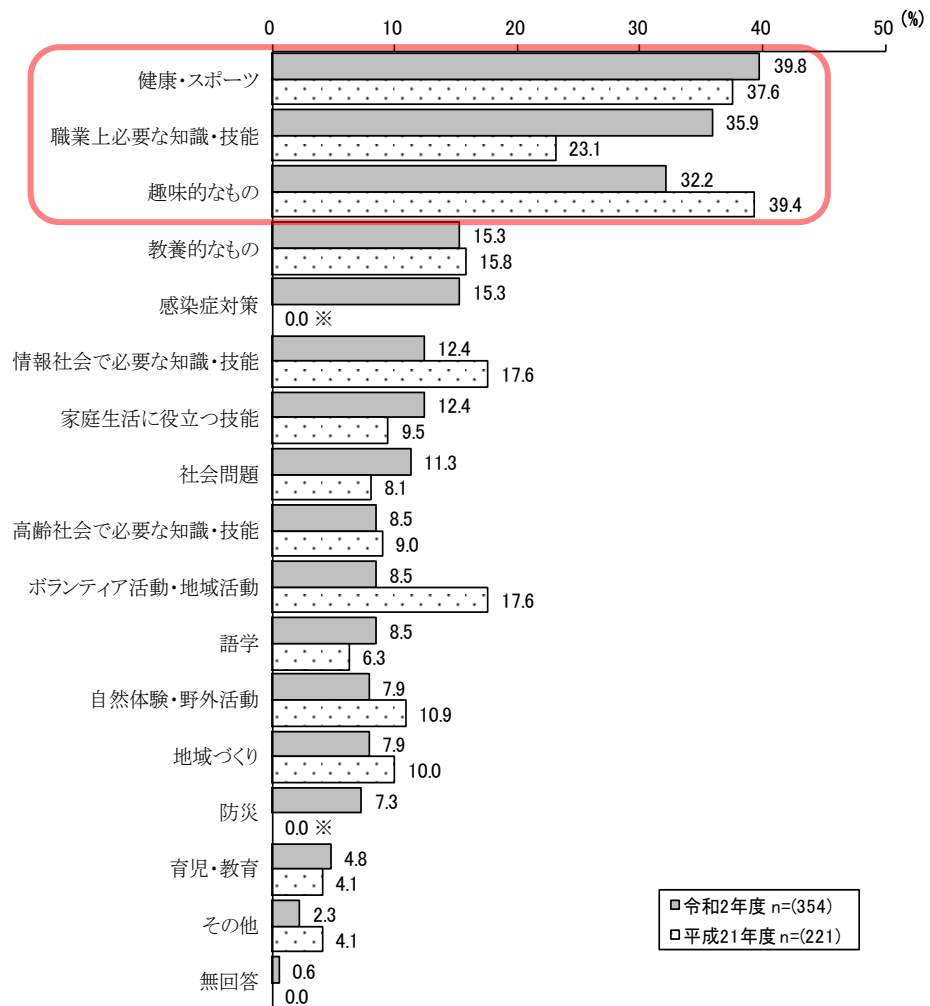
この1年間で生涯学習をしたことがあるかについて、「ある」が36.9%、「ない」が62.7%となっている。

前回の調査結果と比較すると、「ある」は5.5ポイント減となっている。

(2) 生涯学習の内容

【問5で、「1. ある」とお答えになった方にお聞きします。】

問6 それは次のどれですか。



※令和2年度調査で新たに設けた回答項目

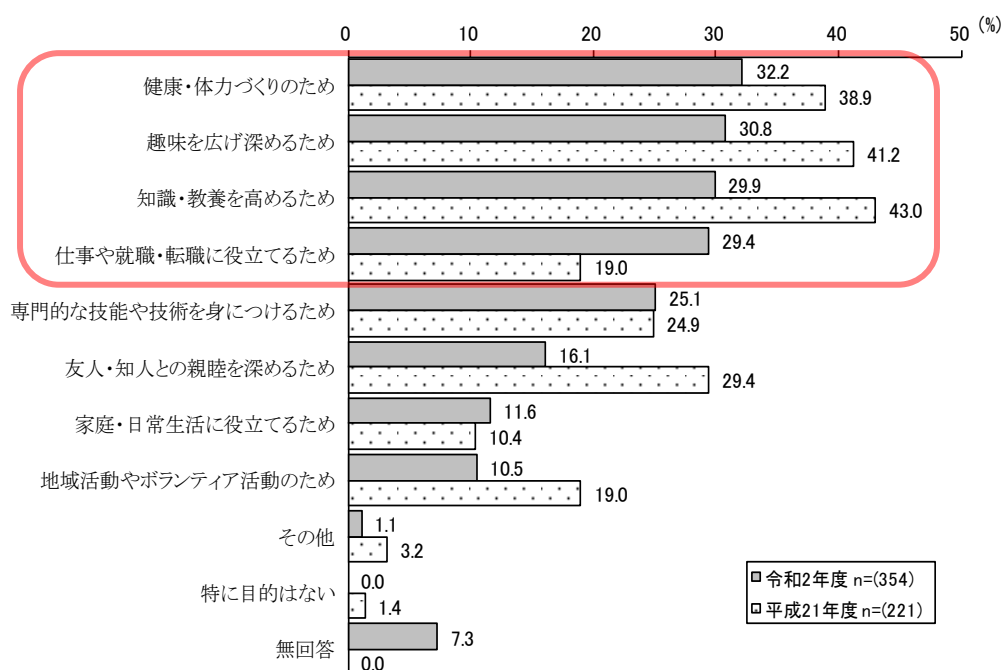
生涯学習の内容について、「健康・スポーツ」が 39.8% と最も高く、次いで「職業上必要な知識・技能」(35.9%)、「趣味的なもの」(32.2%) となっている。

前回の調査結果と比較すると、「ボランティア活動・地域活動」が 9.1 ポイント減となっている一方、「職業上必要な知識・技能」が 12.8 ポイント増、「社会問題」が 3.2 ポイント増となっている。

(3) 生涯学習の目的

【問5で、「1. ある」とお答えになった方にお聞きします。】

問7 それはどのような目的で行いましたか。



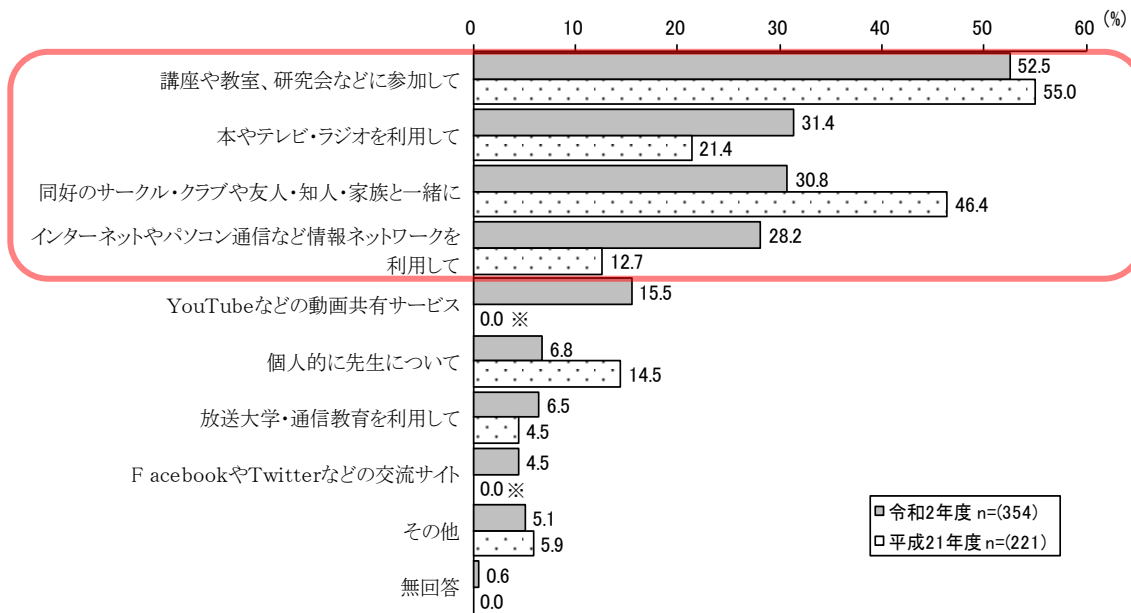
生涯学習の目的について、「健康・体力づくりのため」が32.2%と最も高く、次いで「趣味を広げ深めるため」(30.8%)、「知識・教養を高めるため」(29.9%)となっている。

前回の調査結果と比較すると、「友人・知人との親睦を深めるため」が13.3ポイント減、「知識・教養を高めるため」が13.1ポイント減、「趣味を広げ深めるため」が10.4ポイント減となっている一方、「仕事や就職・転職に役立てるため」が10.4ポイント増となっている。

(4) 生涯学習方法

【問5で、「1. ある」とお答えになった方にお聞きします。】

問8 それはどのような方法で行いましたか。



※令和2年度調査で新たに設けた回答項目

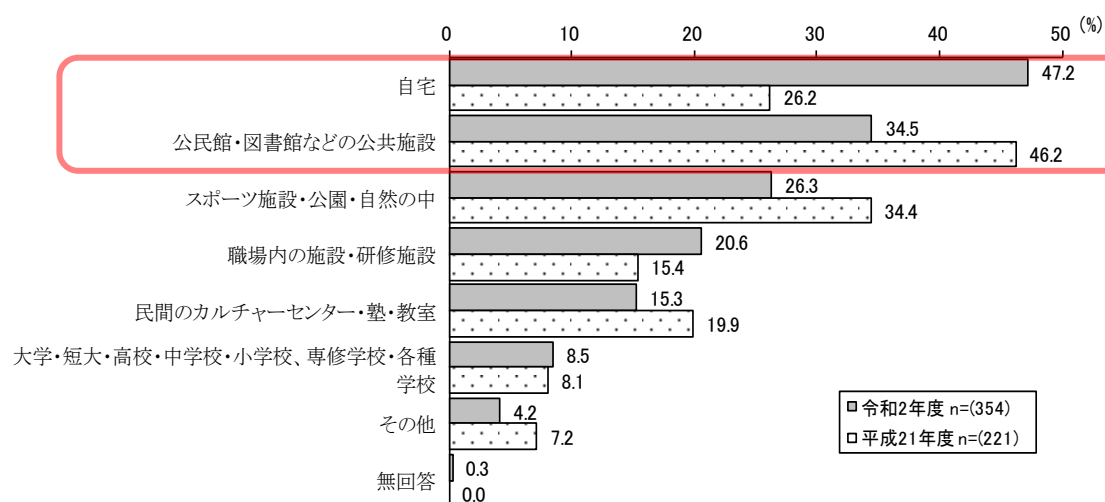
生涯学習方法について、「講座や教室、研究会などに参加して」が 52.5% と最も高く、次いで「本やテレビ・ラジオを利用して」(31.4%)、「同好のサークル・クラブや友人・知人・家族と一緒に」(30.8%) となっている。

前回の調査結果と比較すると、「同好のサークル・クラブや友人・知人・家族と一緒に」が 15.6 ポイント減となっている一方、「インターネットやパソコン通信など情報ネットワークを利用して」が 15.5 ポイント増、「本やテレビ・ラジオを利用して」が 10.0 ポイント増となっている。

(5) 生涯学習を利用した施設（場所）

【問5で、「1. ある」とお答えになった方にお聞きします。】

問9 それはどのような施設（場所）を利用して行いましたか。



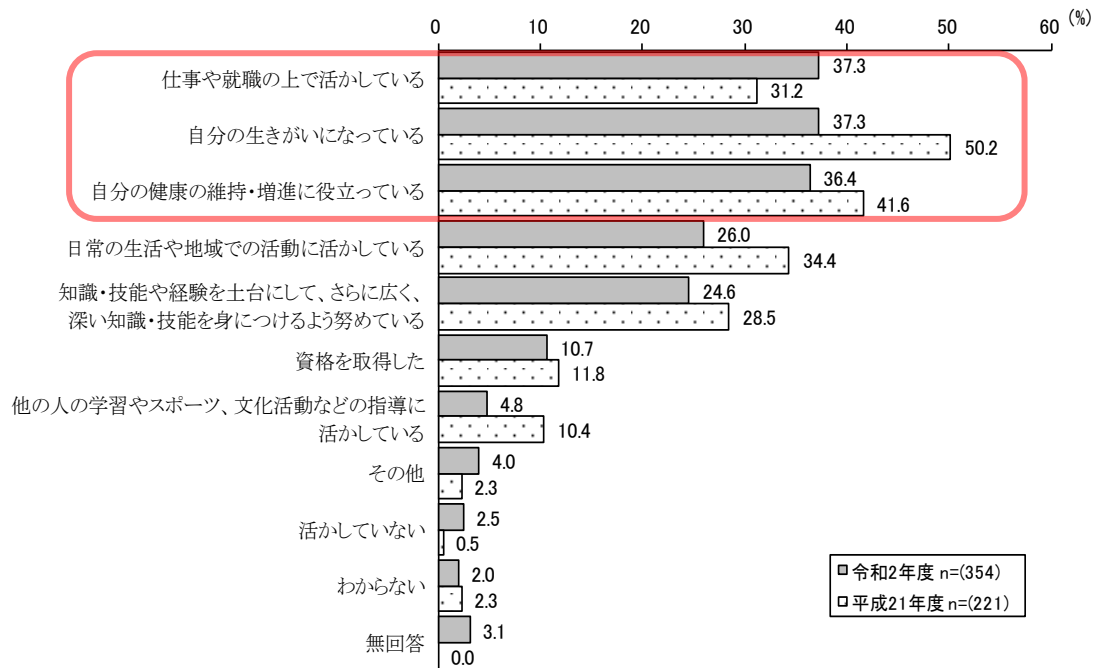
生涯学習を利用した施設（場所）について、「自宅」が47.2%と最も高く、次いで「公民館・図書館などの公共施設」(34.5%)、「スポーツ施設・公園・自然の中」(26.3%)となっている。

前回の調査結果と比較すると、「公民館・図書館などの公共施設」が11.7ポイント減となっている一方、「自宅」が21.0ポイント増となっている。

(6) 知識・技能や経験をどのように活かしているか

【問5で、「1. ある」とお答えになった方にお聞きします。】

問10 身につけた知識・技能や経験をどのように活かしていますか。



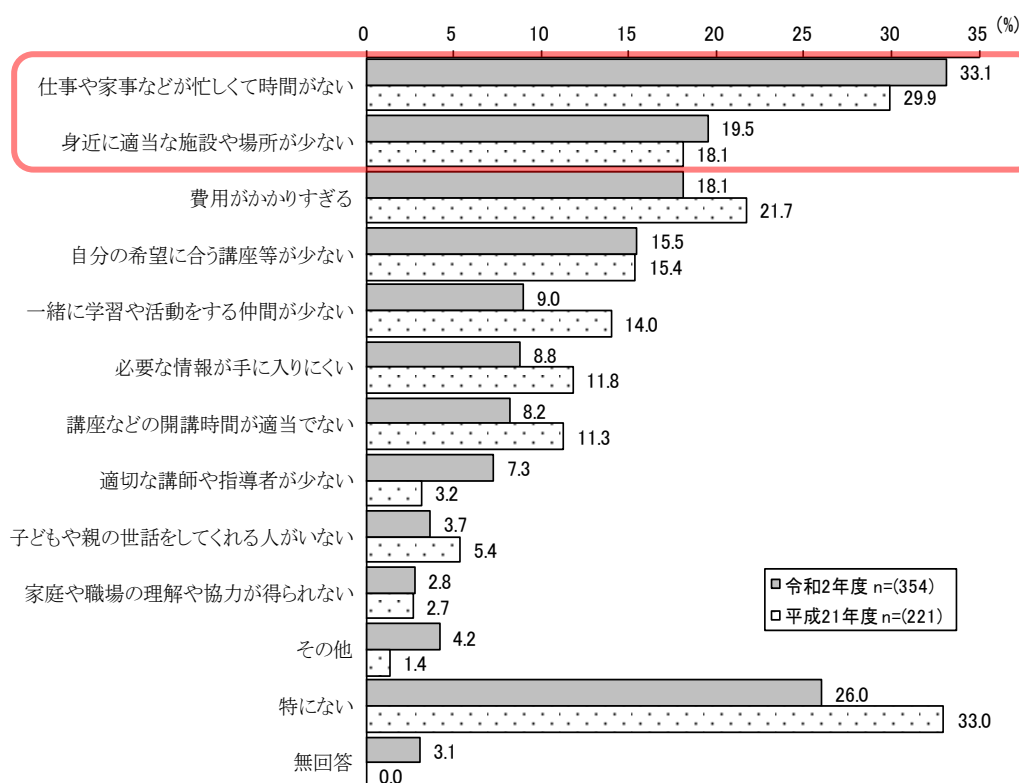
知識・技能や経験をどのように活かしているかについて、「仕事や就職の上で活かしている」と「自分の生きがいになっている」がともに37.3%と最も高く、次いで「自分の健康の維持・増進に役立っている」(36.4%)、「日常生活や地域での活動に活かしている」(26.0%)となっている。

前回の調査結果と比較すると、「自分の生きがいになっている」が12.9ポイント減となっている一方、「仕事や就職の上で活かしている」が6.1ポイント増となっている。

(7) 生涯学習をする上での困りごと

【問5で、「1. ある」とお答えになった方にお聞きします。】

問 11 あなたが生涯学習をする上で、困っていることは何ですか。



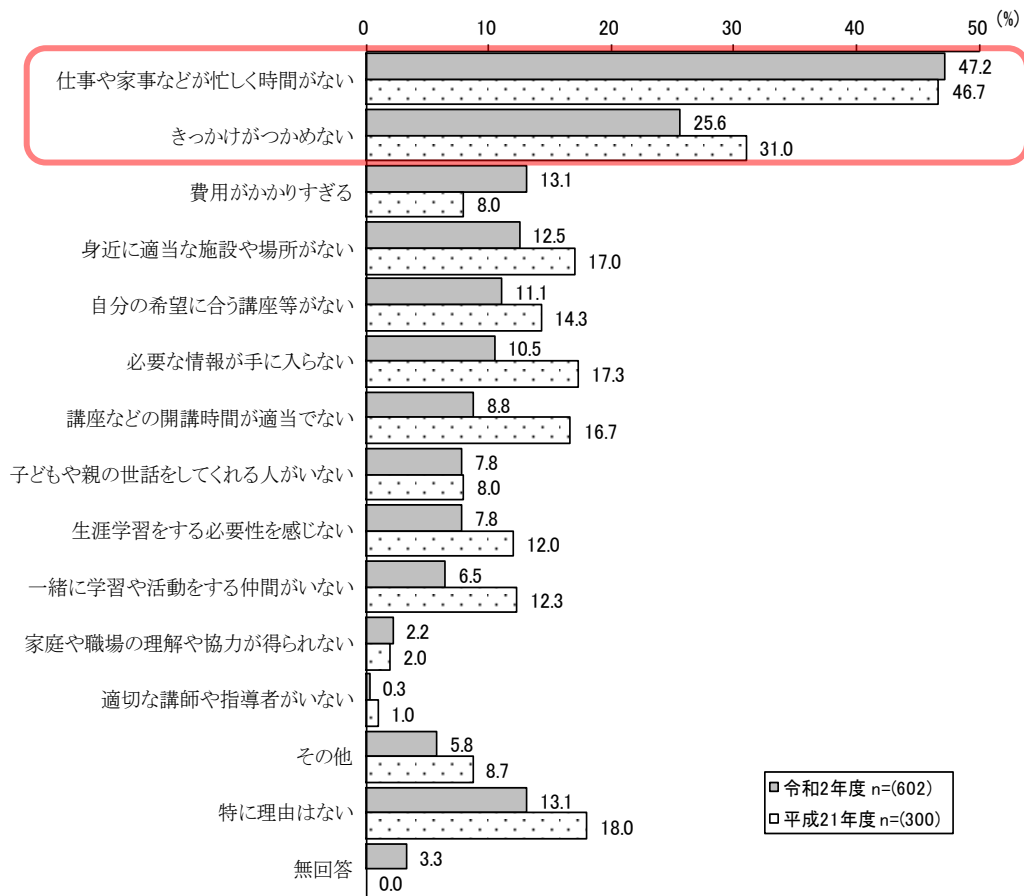
生涯学習をする上での困りごとについて、「仕事や家事などが忙しくて時間がない」が 33.1% と最も高く、次いで「身近に適切な施設や場所が少ない」(19.5%)、「費用がかかりすぎる」(18.1%) となっている。

前回の調査結果と比較すると、「一緒に学習や活動をする仲間が少ない」が 5.0 ポイント減となっている一方、「仕事や家事などが忙しくて時間がない」が 3.2 ポイント増となっている。

(8) 生涯学習をしたことがない理由

【問5で、「2. ない」とお答えになった方にお聞きします。】

問12 その理由は何ですか。



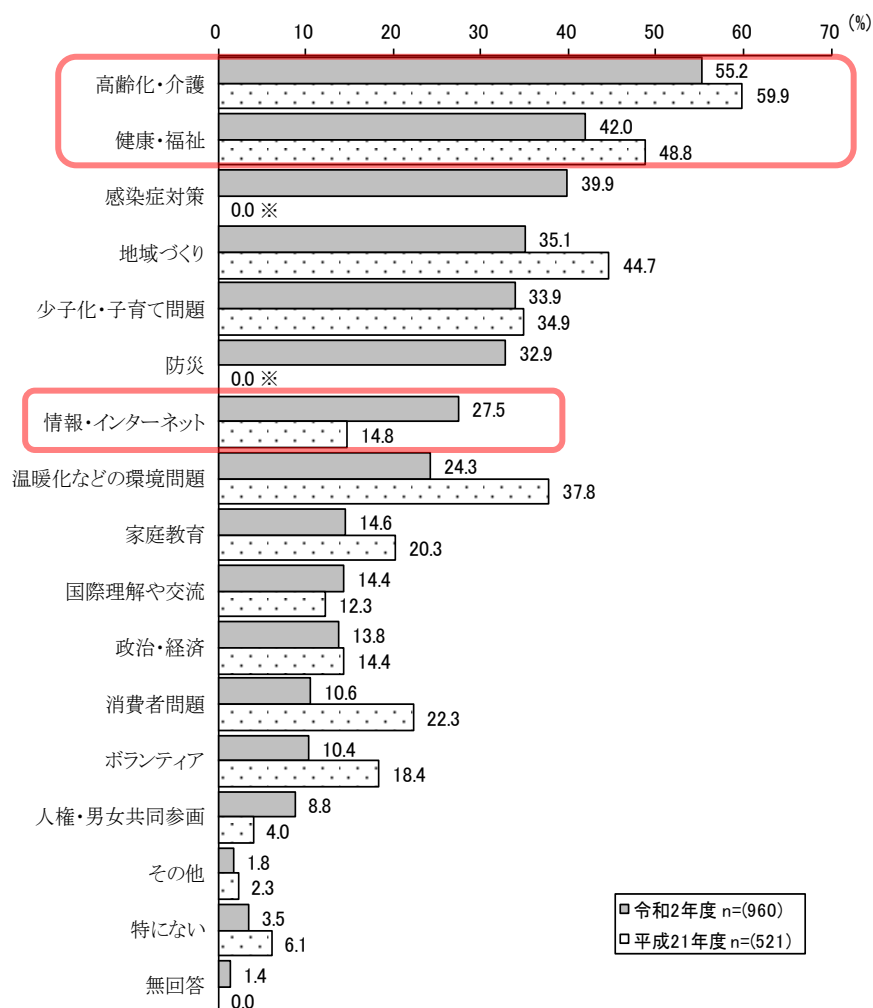
生涯学習をしたことがない理由について、「仕事や家事などが忙しく時間がない」が47.2%と最も高く、次いで「きっかけがつかめない」(25.6%)、「費用がかかりすぎる」(13.1%)となっている。

前回の調査結果と比較すると、「講座などの開講時間が適当ではない」が7.9ポイント減となっている一方、「費用がかかりすぎる」が5.1ポイント増となっている。

3 今後の生涯学習について

(1) 行政が力を入れるべき生涯学習分野

【問 13 これからの社会において、学習分野として行政が力を入れたらどの分野だと思いませんか。



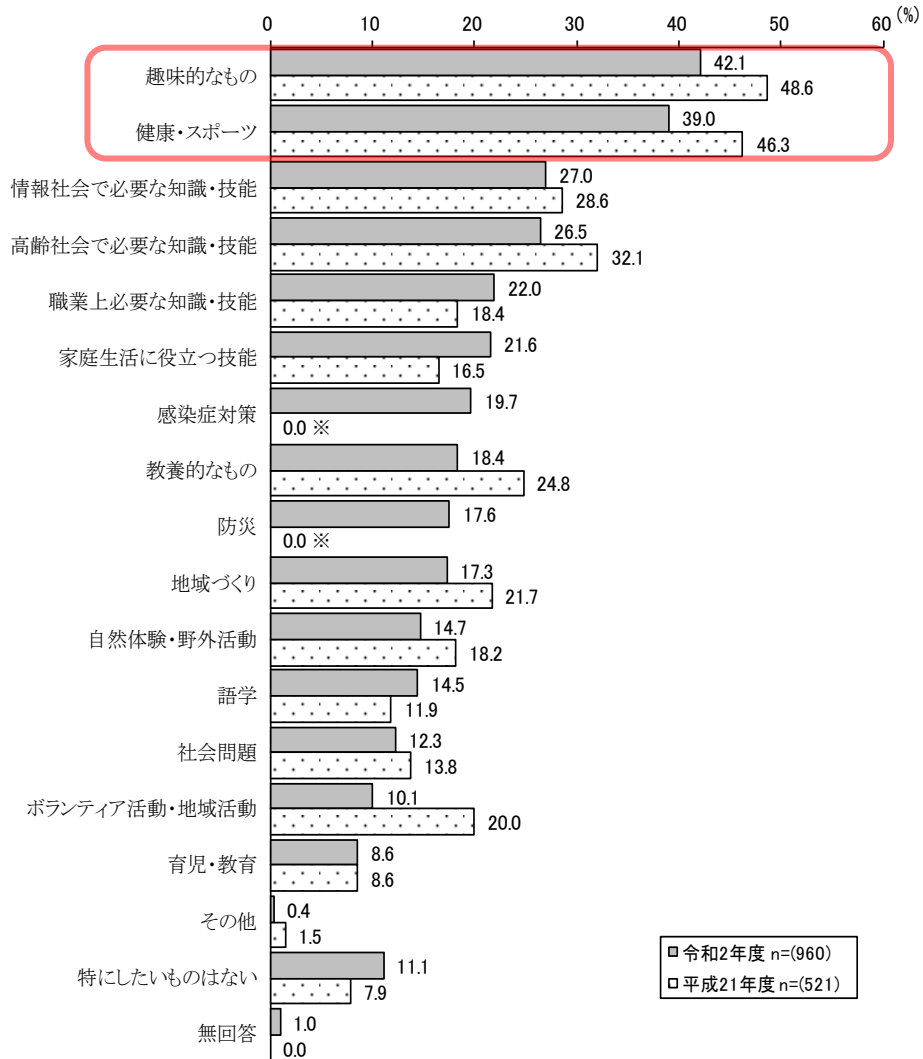
※令和2年度調査で新たに設けた回答項目

行政が力を入れるべき生涯学習分野について、「高齢化・介護」が55.2%と最も高く、次いで「健康・福祉」(42.0%)、「感染症対策」(39.9%)となっている。

前回の調査結果と比較すると、「温暖化などの環境問題」が13.5ポイント減、「消費者問題」が11.7ポイント減、「地域づくり」が9.6ポイント減となっている一方、「情報・インターネット」が12.7ポイント増となっている。

(2) 今後行いたい生涯学習

問 14 あなたは、今後、どのような生涯学習をしたいと思いますか。



※令和2年度調査で新たに設けた回答項目

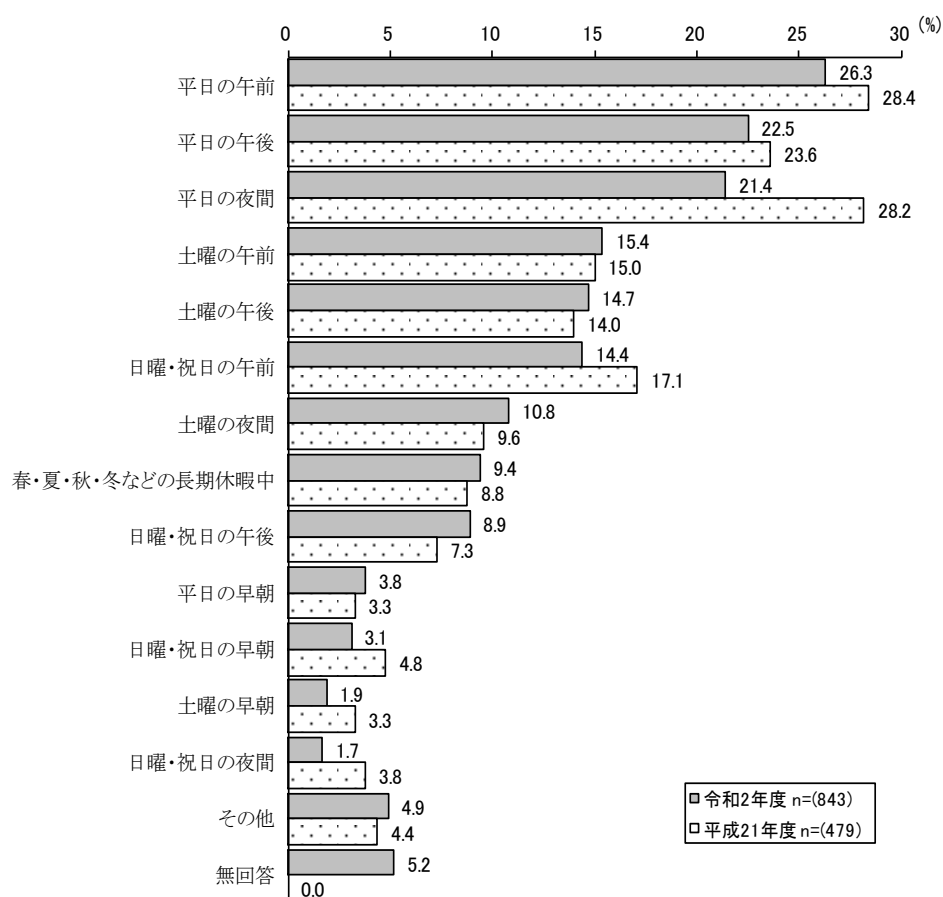
今後行いたい生涯学習について、「趣味的なもの」が42.1%と最も高く、次いで「健康・スポーツ」(39.0%)、「情報社会に必要な知識・技能」(27.0%)となっている。

前回の調査結果と比較すると、「ボランティア活動・地域活動」が9.9ポイント減となっている一方、「家庭生活に役立つ技能」が5.1ポイント増となっている。

(3) 生涯学習をする希望時間帯

【問 14 で、「1. 趣味的なもの」～「16. その他」に○をつけた方にお聞きします。】

問 15 あなたは、今後、生涯学習をするとしたらどの時間帯を希望しますか。



生涯学習をする希望時間帯について、「平日の午前」が 26.3%と最も高く、次いで「平日の午後」(22.5%)、「平日の夜間」(21.4%)となっている。

前回の調査結果と比較すると、「平日の夜間」が 6.8 ポイント減となっている一方、「日曜・祝日の午後」が 1.6 ポイント増となっている。

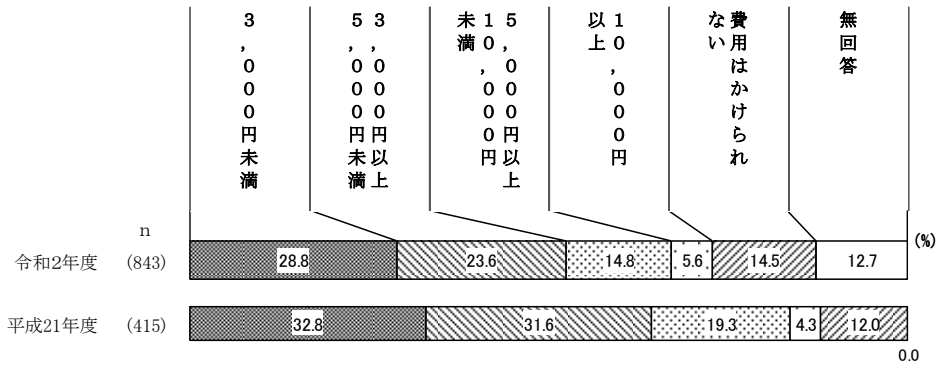
(4) 生涯学習にかかる1か月の平均費用

【問14で、「1. 趣味的なもの」～「16. その他」に○をつけた方にお聞きます。】

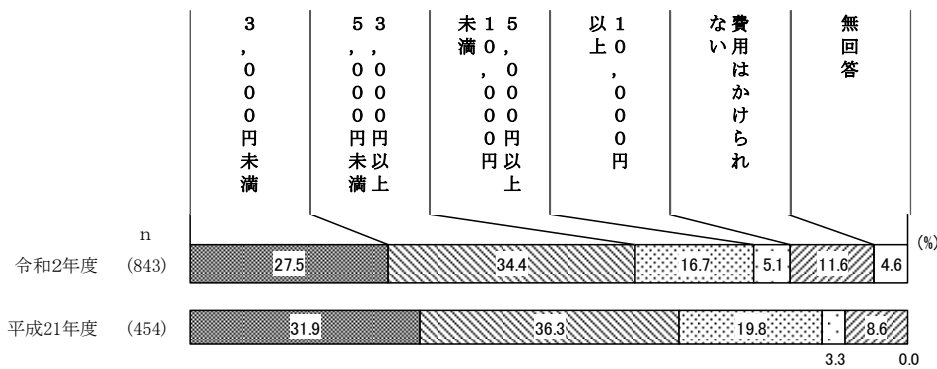
問16 あなたは、現在および今後、生涯学習にどのくらい費用をかけられますか。

1か月平均でお答えください。

【生涯学習にかかる1か月の平均費用/現在】



【生涯学習にかかる1か月の平均費用/今後】



生涯学習にかかる1か月の平均費用（現在）について、「3,000円未満」が28.8%と最も高く、次いで「3,000円以上5,000円未満」（23.6%）、「5,000円以上10,000円未満」（14.8%）となっている。

生涯学習にかかる1か月の平均費用（今後）について、「3,000円以上5,000円未満」が34.4%と最も高く、次いで「3,000円未満」（27.5%）、「5,000円以上10,000円未満」（16.7%）となっている。

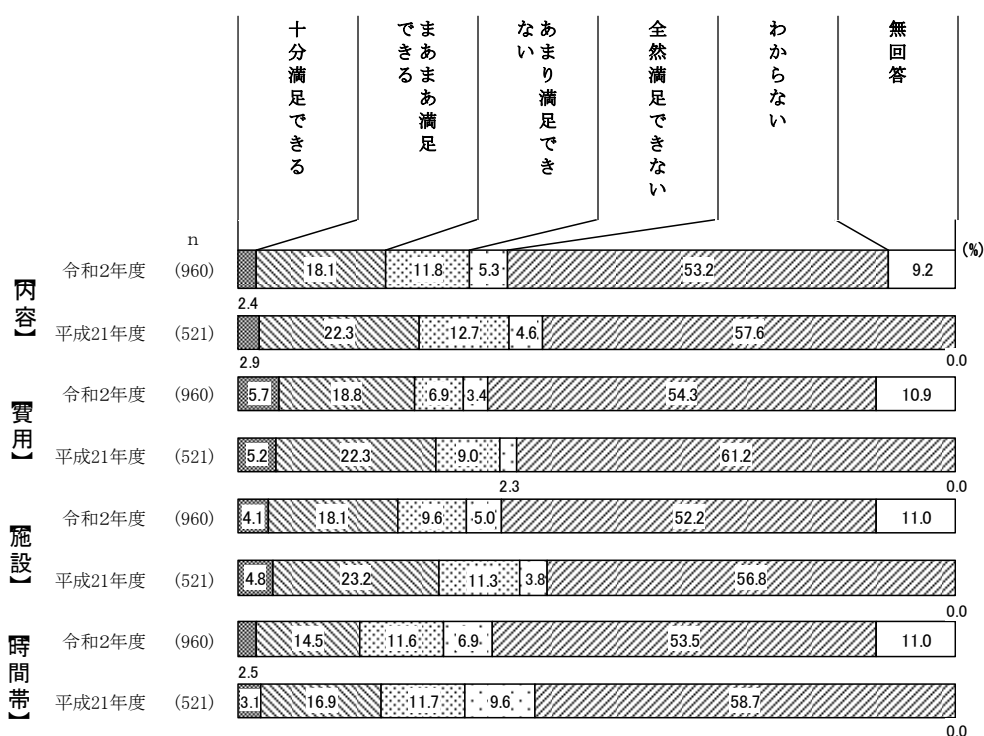
前回の調査結果と比較すると、生涯学習にかかる1か月の平均費用（現在）については、「費用はかけられない」が2.5ポイント増となっている。また、生涯学習にかかる1か月の平均費用（今後）については、「費用はかけられない」が3.2ポイント増となっている。

4 居住地域における生涯学習について

(1) 公的機関・民間の生涯学習に対する満足度

問 17 あなたは、自分が住んでいる地域や県内で受けることのできる「生涯学習」について内容や費用、施設、時間帯に満足していますか。市町村や県、学校などの公的機関による「生涯学習」と、企業やカルチャーセンターなどの、民間による「生涯学習」とに分けてお答えください。

【公的機関の生涯学習に対する満足度】

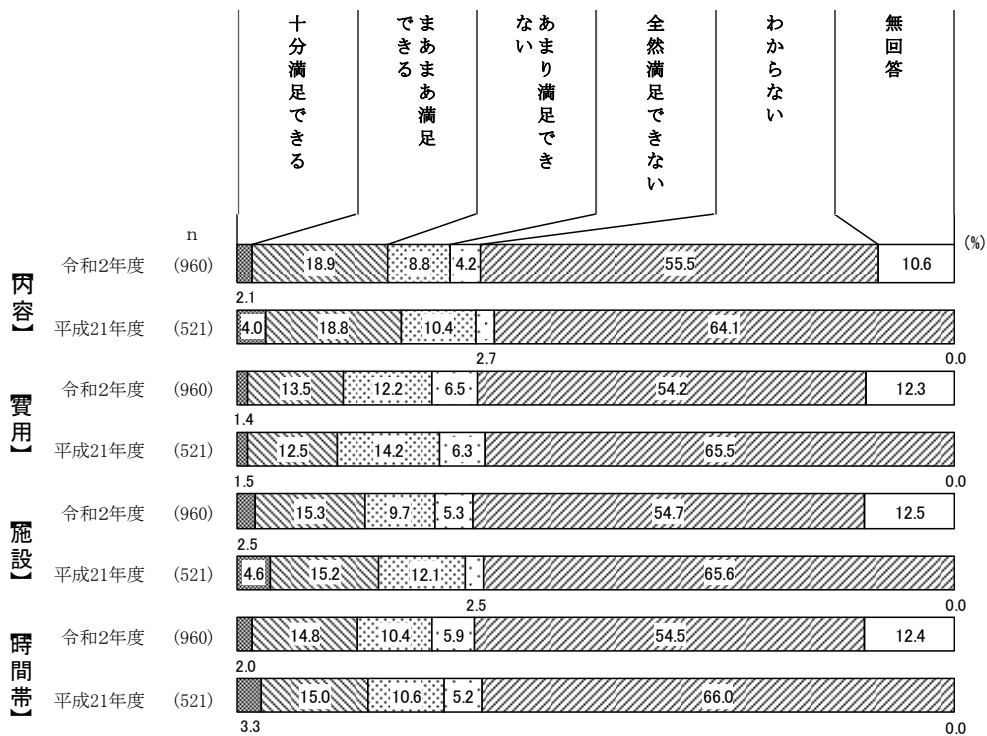


公的機関の生涯学習に対する満足度について、内容では「十分満足できる」(2.4%)と「まあまあ満足できる」(18.1%)を合わせた『満足できる』が20.5%、「あまり満足できない」(11.8%)と「全然満足できない」(5.3%)を合わせた『満足できない』が17.1%となっており、費用では『満足できる』が24.5%、『満足できない』が10.3%、施設では『満足できる』が22.2%、『満足できない』が14.6%、時間帯では『満足できる』が17.0%、『満足できない』が18.5%となっている。

また、「わからない」はそれぞれの項目で5割から6割となっている。

前回の調査結果と比較すると、全ての項目で『満足できる』が減となっている。

【民間の生涯学習に対する満足度】



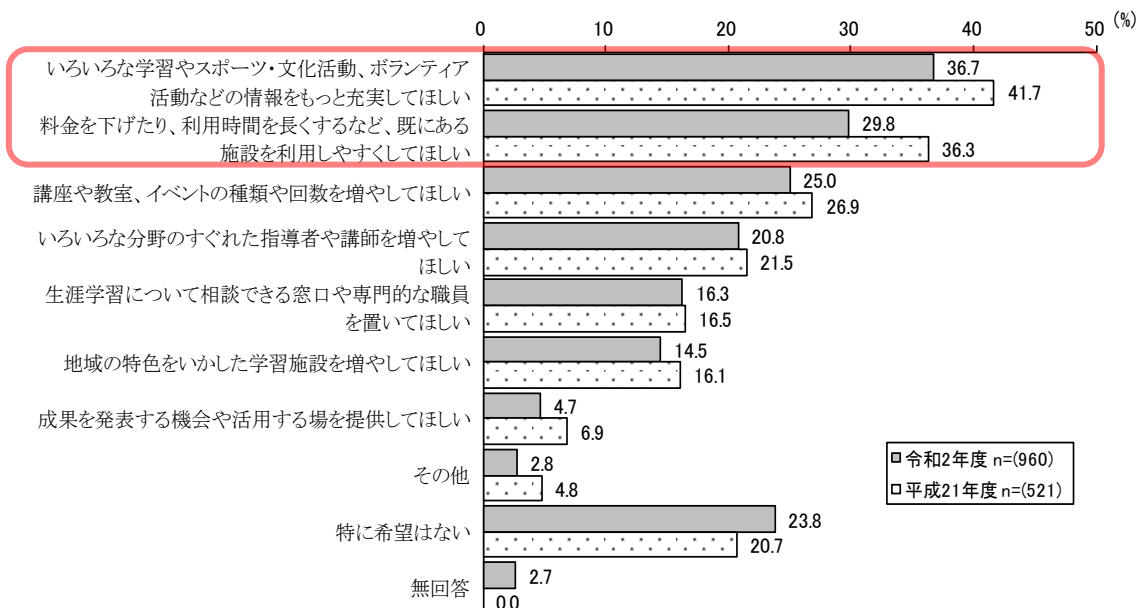
民間の生涯学習に対する満足度について、内容では「十分満足できる」(2.1%)と「まあまあ満足できる」(18.9%)を合わせた『満足できる』が21.0%、「あまり満足できない」(8.8%)と「全然満足できない」(4.2%)を合わせた『満足できない』が13.0%となっており、費用では『満足できる』が14.9%、『満足できない』が18.7%、施設では『満足できる』が17.8%、『満足できない』が15.0%、時間帯では『満足できる』が16.8%、『満足できない』が16.3%となっている。

また、「わからない」はそれぞれの項目で5割から6割となっている。

前回の調査結果と比較すると、費用では『満足できる』が微増となっている。

(2) 生涯学習をする上で、行政に期待すること

問 18 あなたが生涯学習をする上で、市町村や県などの行政にどのようなことを期待しますか。

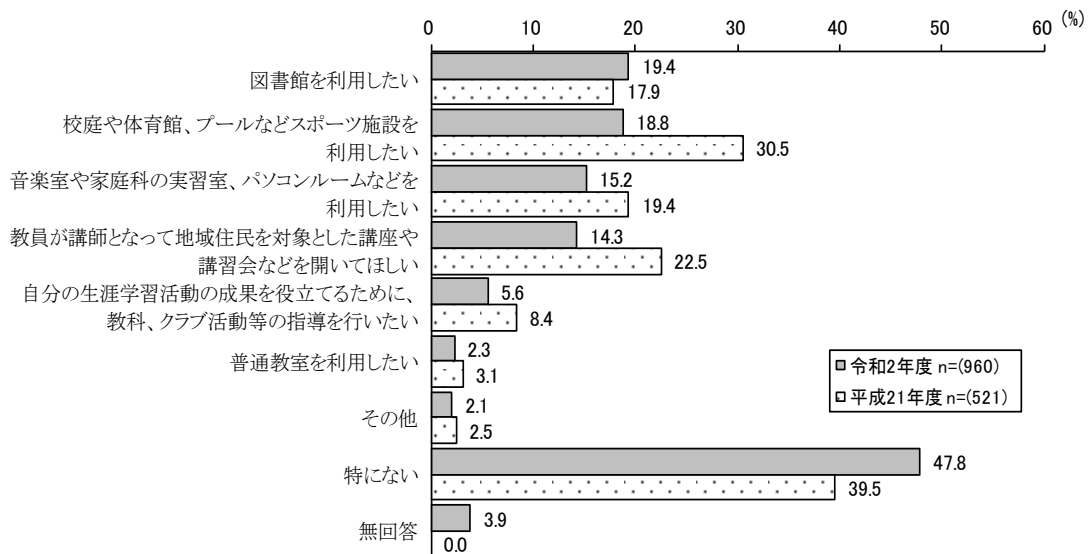


生涯学習をする上で、行政に期待することについて、「いろいろな学習やスポーツ・文化活動、ボランティア活動などの情報をもっと充実してほしい」が36.7%と最も高く、次いで「料金を下げたり、利用時間を長くするなど、既にある施設を利用しやすくしてほしい」(29.8%)、「講座や教室、イベントの種類や回数を増やしてほしい」(25.0%)となっている。

前回の調査結果と比較すると、「料金を下げたり、利用時間を長くするなど、既にある施設を利用しやすくしてほしい」が6.5ポイント減となっている。

(3) 生涯学習をする上で、学校や学校教員へ期待すること

問 19 あなたが生涯学習をする上で、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校または教員に対してどのようなことを期待しますか。

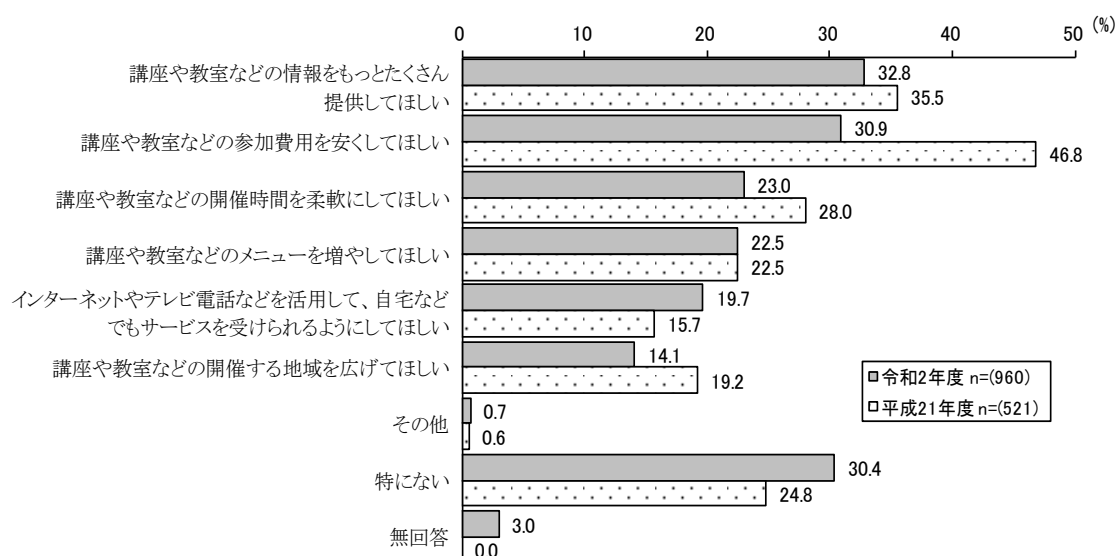


生涯学習をする上で、学校や学校教員へ期待することについて、「図書館を利用したい」が19.4%と最も高く、次いで「校庭や体育館、プールなどスポーツ施設を利用したい」(18.8%)、「音楽室や家庭科の実習室、パソコンルームなどを利用したい」(15.2%)となっている。

前回の調査結果と比較すると、「校庭や体育館、プールなどスポーツ施設を利用したい」が11.7ポイント減となっている。

(4) 生涯学習をする上で、民間事業者に期待すること

問 20 あなたが生涯学習をする上で、カルチャーセンターなどの民間の事業者に対してどのようなことを期待しますか。

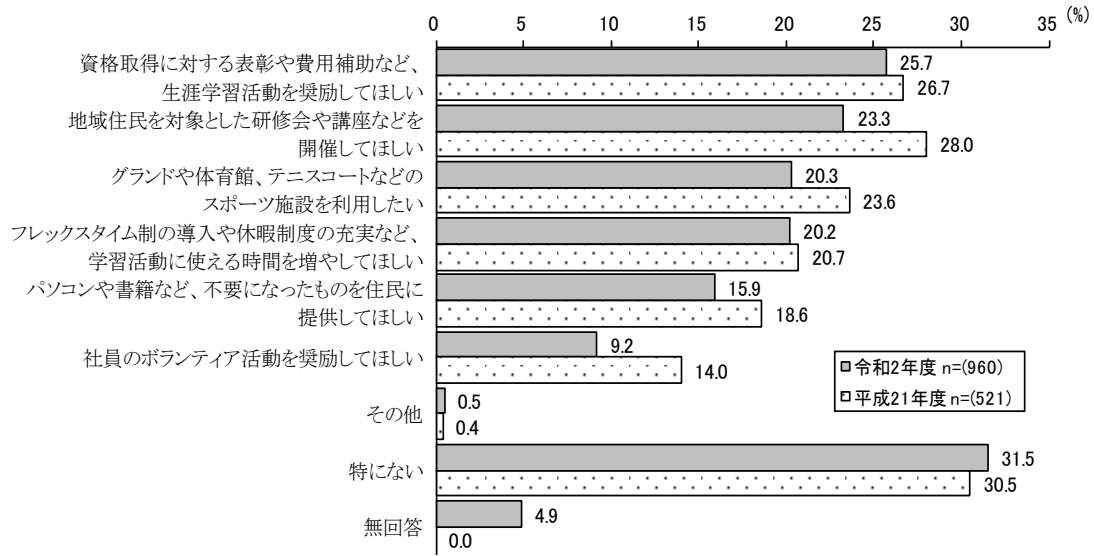


生涯学習をする上で、民間事業者に期待することについて、「講座や教室などの情報をもっとたくさん提供してほしい」が32.8%と最も高く、次いで「講座や教室などの参加費用を安くしてほしい」(30.9%)、「講座や教室などの開催時間を柔軟にほしい」(23.0%)となっている。

前回の調査結果と比較すると、「講座や教室などの参加費用を安くしてほしい」が15.9ポイント減となっている一方、「インターネットやテレビ電話などを利用して、自宅などでもサービスを受けられるようにしてほしい」が4.0ポイント増となっている。

(5) 生涯学習をする上で、企業に期待すること

問 21 あなたが生涯学習をする上で、企業に対してどのようなことを期待しますか。

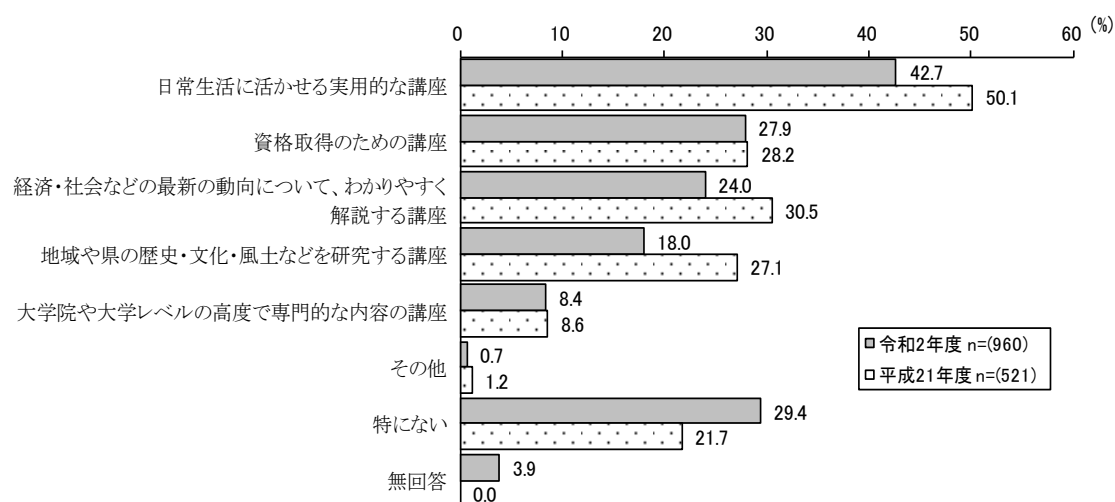


生涯学習をする上で、企業に期待することについて、「資格取得に対する表彰や費用補助など、生涯学習活動を奨励してほしい」が25.7%と最も高く、次いで「地域住民を対象とした研修会や講座などを開催してほしい」(23.3%)、「グラウンドや体育館、テニスコートなどのスポーツ施設を利用したい」(20.3%)となっている。

前回の調査結果と比較すると、「社員のボランティア活動を奨励してほしい」が4.8ポイント減となっている。

(6) 大学や短期大学などで希望する公開講座やセミナーの内容

問 22 あなたは、大学、短期大学などで行われる公開講座やセミナーでは、どのような内容を希望しますか。



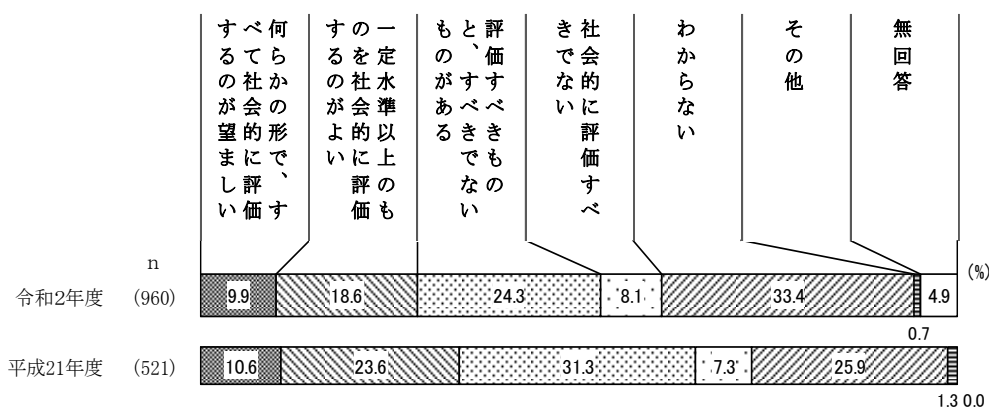
大学や短期大学などで希望する公開講座やセミナーの内容について、「日常生活に活かせる実用的な講座」が42.7%と最も高く、次いで「資格取得のための講座」(27.9%)、「経済・社会などの最新の動向について、わかりやすく解説する講座」(24.0%)となっている。

前回の調査結果と比較すると、「地域や県の歴史・文化・風土などを研究する講座」が9.1ポイント減となっている。

5 生涯学習を通じて学んだことへの評価について

(1) 身につけた知識や技術を社会的に評価されることについて、どう思うか

問 23 あなたは、生涯学習を通じて身につけた知識や技能などを社会的に評価されることについて、どう思いますか。あなたの考えにもっとも近いものを1つだけあげてください。

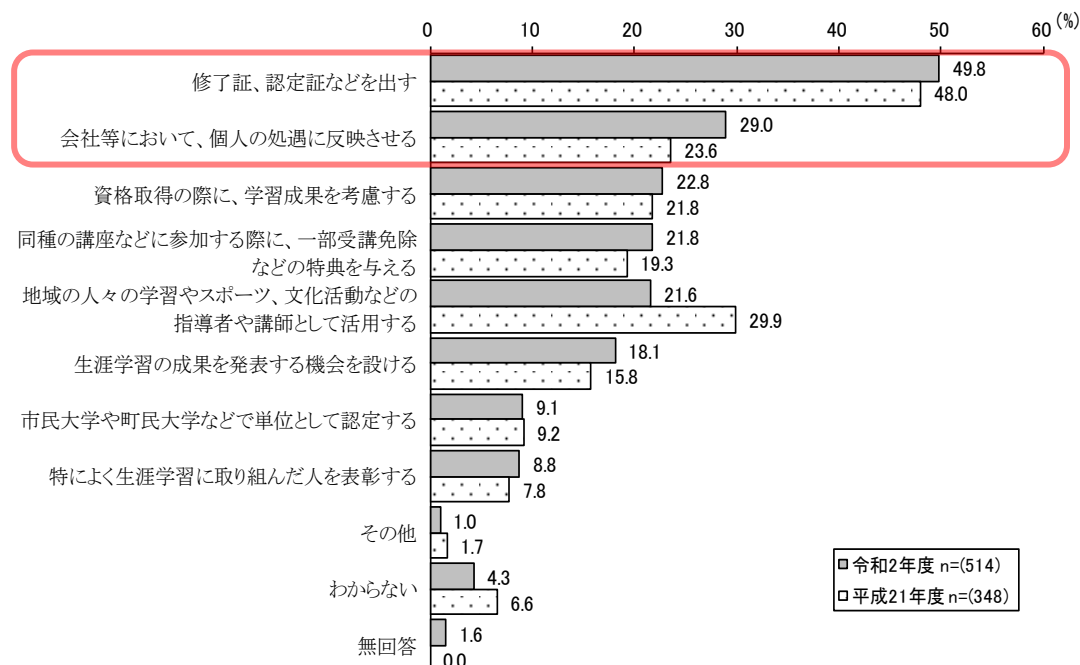


身につけた知識や技術を社会的に評価されることについて、どう思うかについて、「評価すべきものと、すべきでないものがある」が24.3%と最も高く、次いで「一定水準以上のものを社会的に評価するのがよい」(18.6%)、「何らかの形で、すべて社会的に評価するのが望ましい」(9.9%)となっている。

前回の調査結果と比較すると、「評価すべきものと、すべきでないものがある」が7.0ポイント減となっている。

(2) 身につけた知識や技術の評価の方法

【問 23 で、「1. 何らかの形で、すべて社会的に評価するのが望ましい」～「3. 評価すべきものと、すべきでないものがある」、「6. その他」のいずれかに○をつけた方にお聞きします。】
 問 24 その評価は、どのような形で行うのがよいと思いますか。



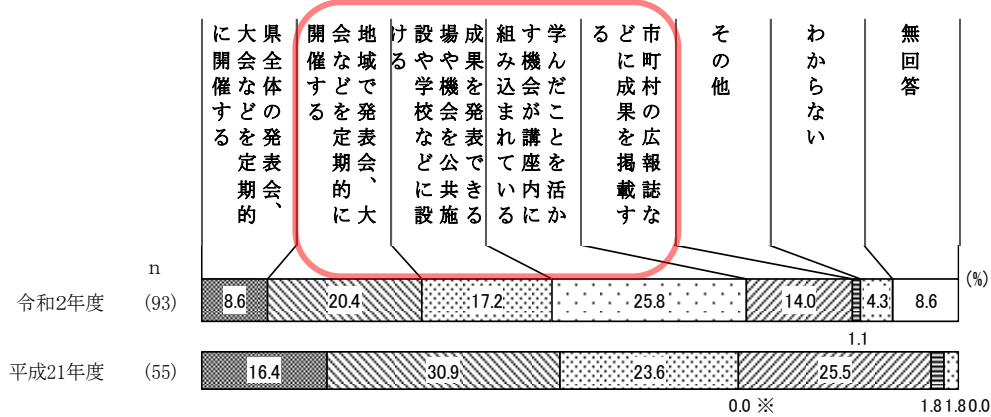
身につけた知識や技術の評価の方法について、「修了証、認定証などを出す」が 49.8% と最も高く、次いで「会社等において、個人の処遇に反映させる」(29.0%)、「資格取得の際に、学習成果を考慮する」(22.8%) となっている。

前回の調査結果と比較すると、「地域の人々の学習やスポーツ、文化活動などの指導者や講師として活用する」が 8.3 ポイント減となっている一方、「会社等において、個人の処遇に反映させる」が 5.4 ポイント増、「同種の講座などに参加する際に、一部受講免除などの特典を与える」が 2.5 ポイント増となっている。

(3) 学習成果の発表形式

【問 24 で、「7. 生涯学習の成果を発表する機会を設ける」に○をつけた方にお聞きします。】

問 25 学んだ成果を発表する機会はどのような形で設けられるのがよいと思いますか。



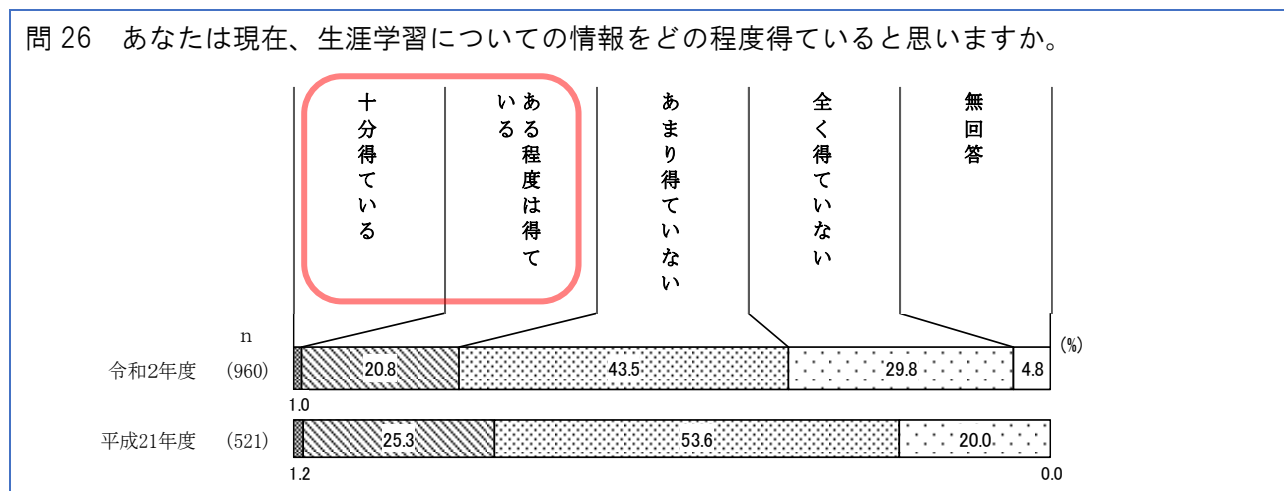
※令和2年度調査で新たに設けた回答項目

学習成果の発表形式について、「学んだことを活かす機会が講座内に組み込まれている」が 25.8%と最も高く、次いで「地域で発表会、大会などを定期的に開催する」(20.4%)、「成果を発表できる場や機会を公共施設や学校などに設ける」(17.2%) となっている。

前回の調査結果と比較すると、「市町村の広報誌などに成果を掲載する」が 11.5 ポイント減となっている。また、今回新規で追加した「学んだことを活かす機会が講座内に組み込まれている」が 25.8%と最も高くなっている。

6 生涯学習に関する情報の入手方法について

(1) 生涯学習についての情報をどの程度得ているか

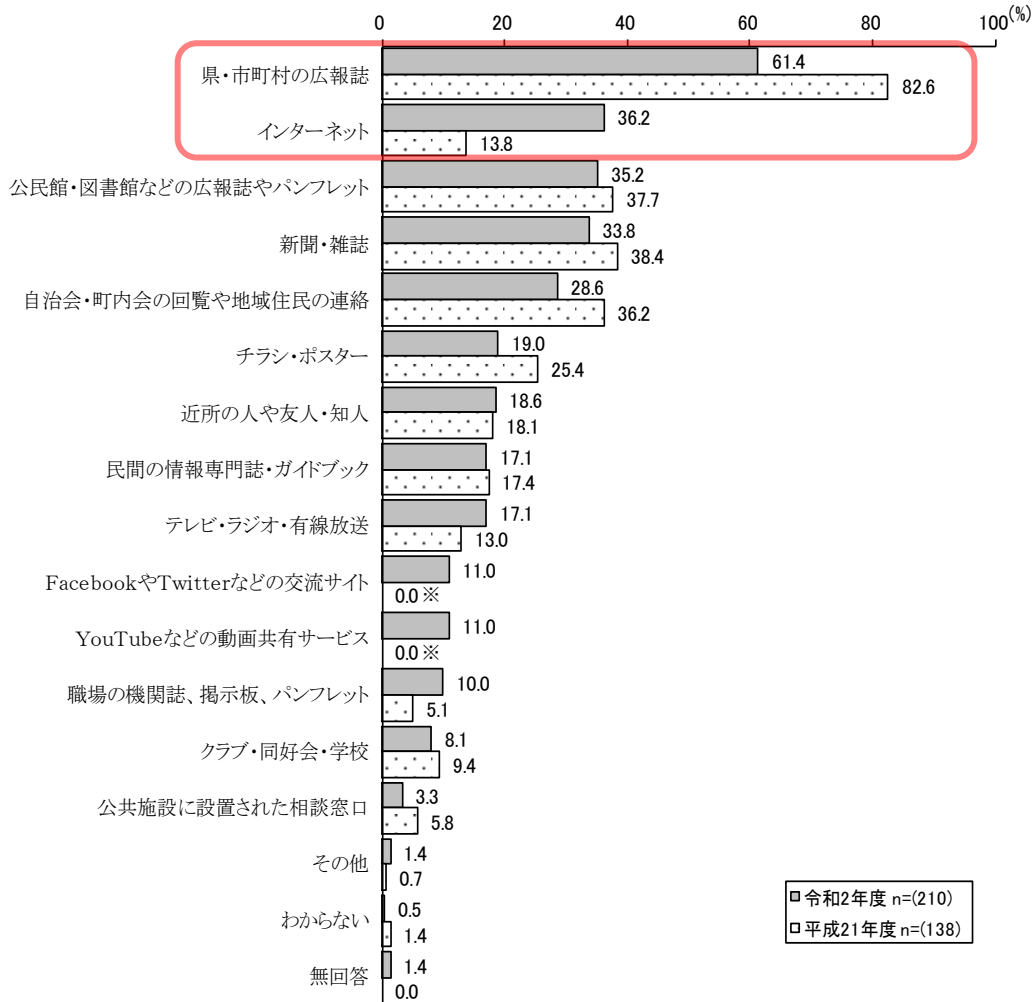


生涯学習についての情報をどの程度得ているかについて、「十分得ている」(1.0%)と「ある程度は得ている」(20.8%)を合わせた『情報を十分に得ている』が21.8%、「あまり得ていない」(43.5%)と「全く得ていない」(29.8%)を合わせた『情報を十分に得ていない』が73.3%となっている。前回の調査結果と比較すると『情報を十分に得ている』が4.7ポイント減となっている。

(2) 主な情報の入手先

【問 26 で、「1. 十分得ている」、「2. ある程度は得ている」のいずれかに○をつけた方にお聞きします。】

問 27 あなたは、その情報を主に何で得ていますか。



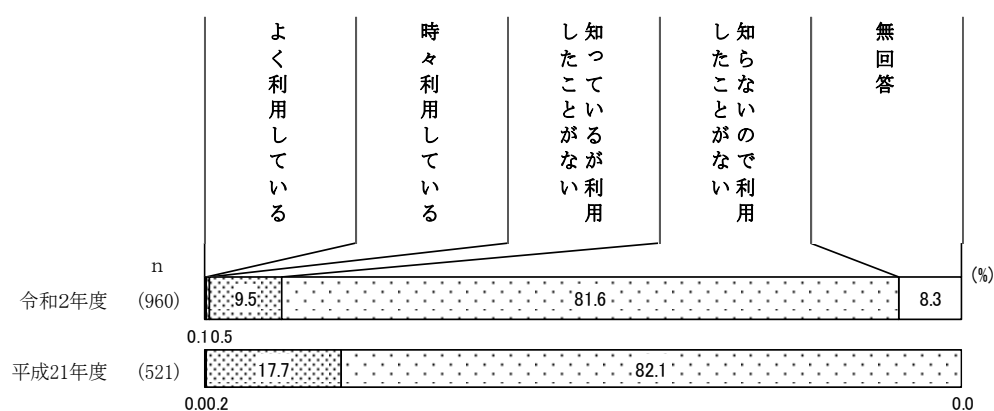
※令和2年度で新たに設けた回答項目

主な情報の入手先について、「**県・市町村の広報誌**」が61.4%と最も高く、次いで「**インターネット**」(36.2%)、「**公民館・図書館などの広報誌やパンフレット**」(35.2%)となっている。

前回の調査結果と比較すると、「**県・市町村の広報誌**」が21.2ポイント減となっている一方、「**インターネット**」が22.4ポイント増、「**職場の機関誌、掲示板、パンフレット**」が4.9ポイント増となっている。

(3) 生涯学習情報提供システムを利用しているか

問 28 あなたは、県の「生涯学習情報提供システム（愛称：県民カレッジ※）」を利用していますか。



※平成 21 年度は生涯学習システム（愛称：まなびとファインダー）の利用状況

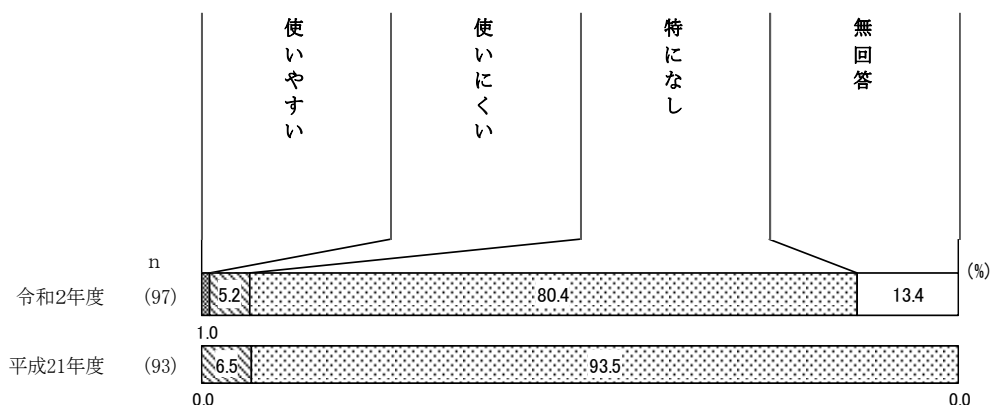
生涯学習情報提供システムを利用しているかについて、「知らないで利用したことがない」が 81.6%と最も高く、次いで「知っているが利用したことがない」(9.5%) となっている。

前回の調査結果と比較すると、「知っているが利用したことがない」が 8.2 ポイント減となっている。

(4) 生涯学習情報提供システムにどのような印象を受けるか

【問 28 で、「1. よく利用している」、「2. 時々利用している」、「3. 知っているが利用したこと
がない」のいずれかに○をつけた方にお聞きします。】

問 29 県の生涯学習情報提供システムに、どのような印象を受けますか。



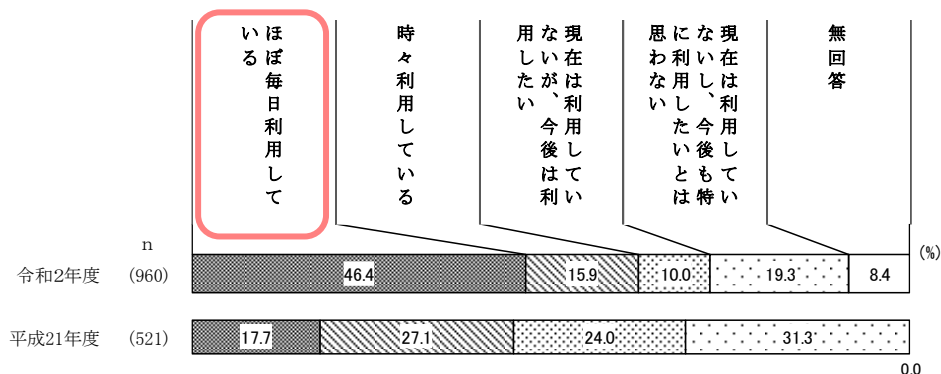
生涯学習情報提供システムにどのような印象を受けるかについて、「使いやすい」が1.0%、「使いにくい」が5.2%となっている。

また、「特になし」は80.4%となっている。

前回の調査結果と比較すると、「使いやすい」が1.0ポイント増となっている。

(5) インターネットの利用頻度

問 30 あなたは、インターネットをどのくらい利用していますか。



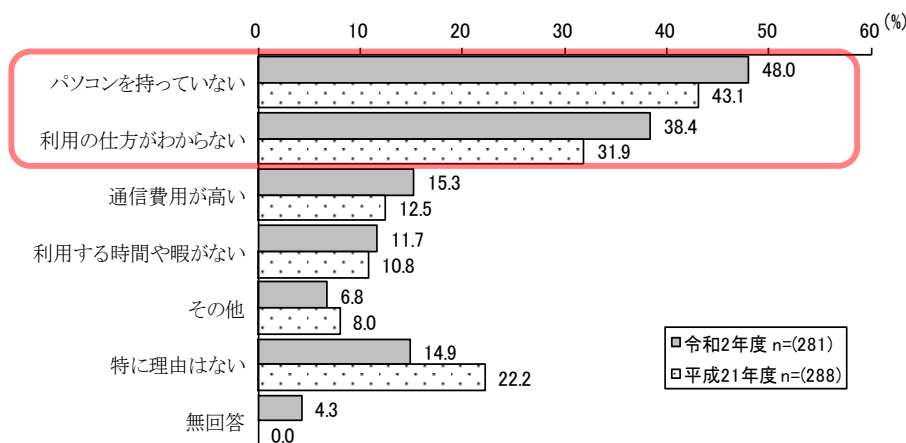
インターネットの利用頻度について、「ほぼ毎日利用している」が46.4%と最も高く、次いで「現在は利用していないし、今後も特に利用したいとは思わない」(19.3%)、「時々利用している」(15.9%)となっている。

前回の調査結果と比較すると、「ほぼ毎日利用している」が28.7ポイント増となっている。

(6) インターネットを利用していない理由

【問 30 で、「3. 現在は利用していないが、今後は利用したい」、「4. 現在は利用していないし、今後も特に利用したいとは思わない」のいずれかに○をつけた方にお聞きします。】

問 31 現在、インターネットを利用していない理由は何ですか。



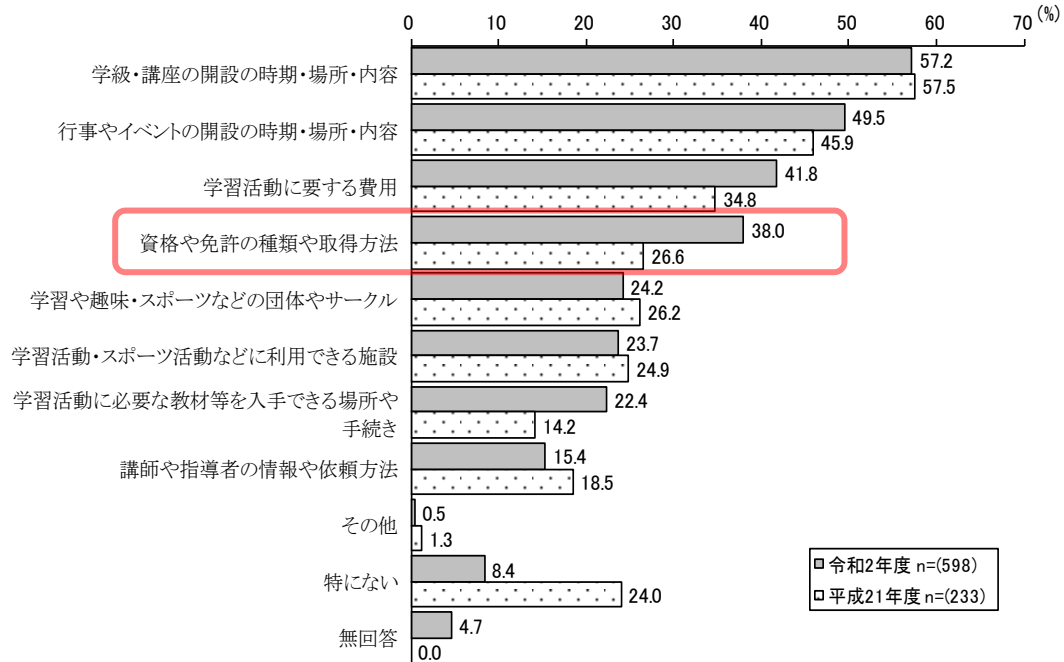
インターネットを利用していない理由について、「パソコンを持っていない」が48.0%と最も高く、次いで「利用の仕方がわからない」(38.4%)、「通信費用が高い」(15.3%)となっている。

前回の調査結果と比較すると、「利用の仕方がわからない」が6.5ポイント増となっている。

(7) 生涯学習をするとき、必要だと思われる情報（内容）

【問 30 で、「1. ほぼ毎日利用している」、「2. 時々利用している」のいずれかに○をつけた方にお聞きします。】

問 32 あなたが、今後、生涯学習をするとき、必要だと思われる情報（内容）は何ですか。

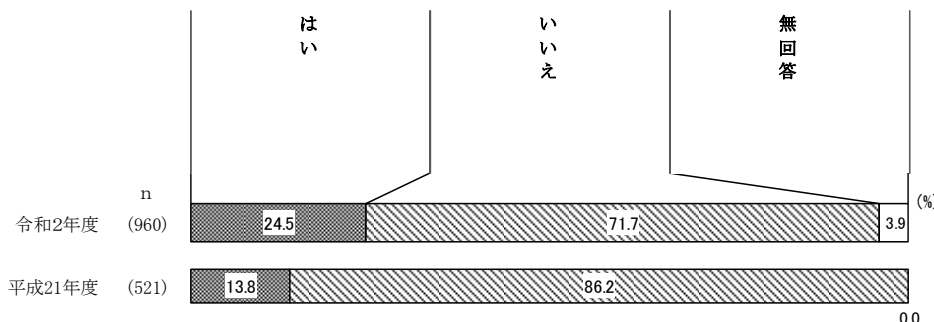


生涯学習をするとき、必要だと思われる情報（内容）について、「学級・講座の開設の時期・場所・内容」が57.2%と最も高く、次いで「行事やイベントの開設の時期・場所・内容」（49.5%）、「学習活動に要する費用」（41.8%）となっている。

前回の調査結果と比較すると、「講師や指導者の情報や依頼方法」が3.1ポイント減となっている一方、「資格や免許の種類や取得方法」が11.4ポイント増、「学習活動に必要な教材等を入手できる場所や手続き」が8.2ポイント増となっている。

(8) eラーニングの経験有無

問 33 あなたは、eラーニング（パソコンやインターネット等を使った学習）をしたことがありますか。

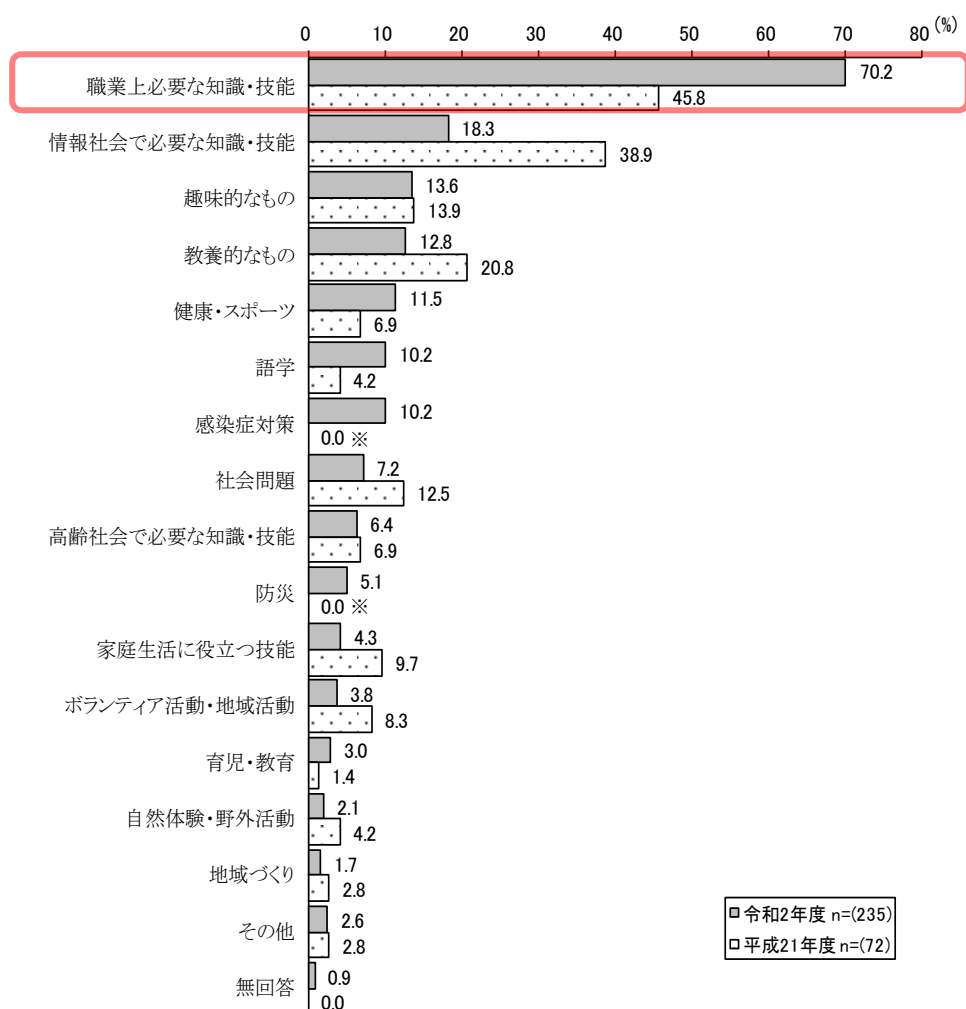


eラーニングの経験有無について、「はい」が24.5%、「いいえ」が71.7%となっている。前回の調査結果と比較すると、「はい」が10.7ポイント増となっている。

(9) eラーニングでの学習内容

【問 33 で、「1. はい」とお答えになった方にお聞きします。】

問 34 eラーニングを使って何を学習しましたか。



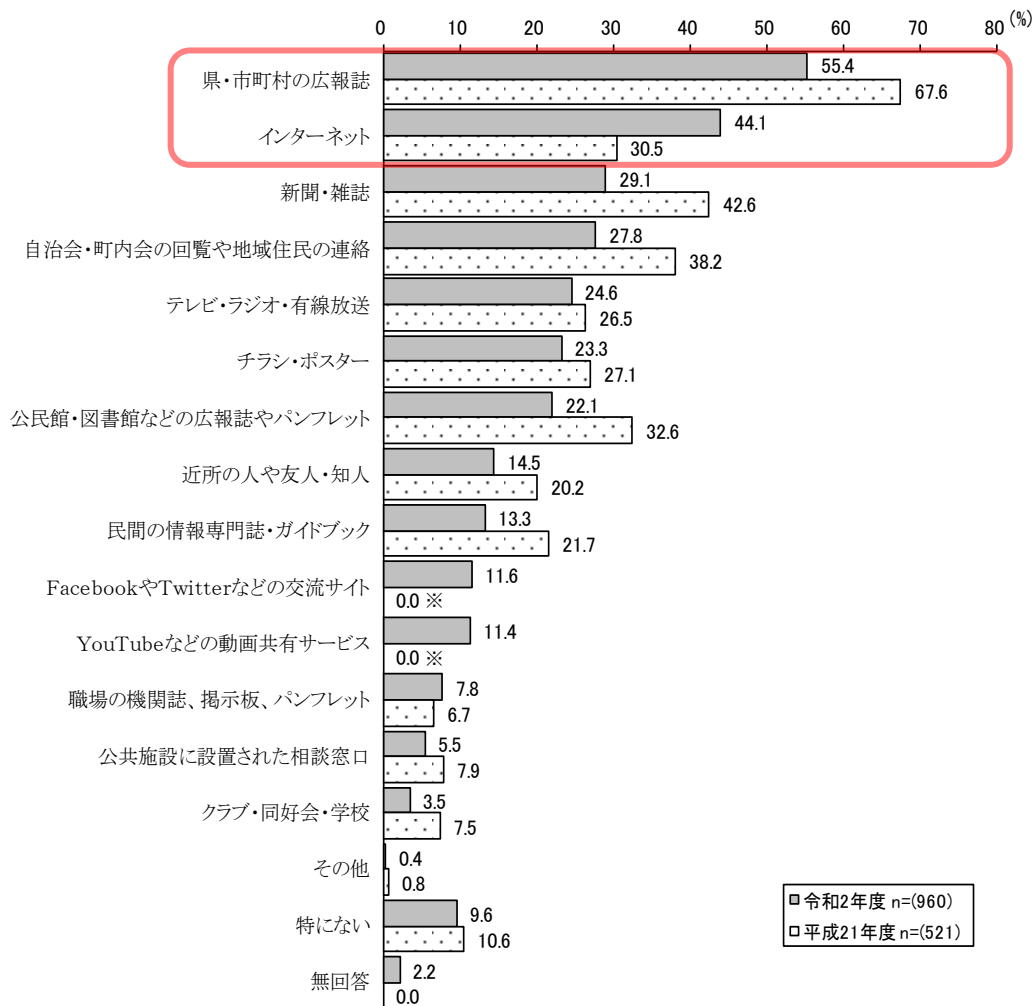
※令和2年度調査で新たに設けた回答項目

eラーニングでの学習内容について、「職業上必要な知識・技能」が70.2%と最も高く、次いで「情報社会に必要な知識・技能」(18.3%)、「趣味的なもの」(13.6%)となっている。

前回の調査結果と比較すると、「情報社会に必要な知識・技能」が20.6ポイント減となっている一方、「職業上必要な知識・技能」が24.4ポイント増、「語学」が6.0ポイント増となっている。

(10) 今後の生涯学習情報の入手方法

問 35 あなたが、今後、生涯学習をするのに必要な情報は、どのような方法によって得ようと思いますか。



※令和2年度調査で新たに設けた回答項目

今後の生涯学習情報の入手方法について、「**県・市町村の広報誌**」が**55.4%**と最も高く、次いで「**インターネット**」(44.1%)、「**新聞・雑誌**」(29.1%)となっている。

前回の調査結果と比較すると、「新聞・雑誌」が13.5ポイント減、「県・市町村の広報誌」が12.2ポイント減、「公民館・図書館などの広報誌やパンフレット」が10.5ポイント減、「自治会・町内会の回覧や地域住民の連絡」が10.4ポイント減となっている一方、「**インターネット**」が**13.6ポイント増**となっている。

7 県への意見や要望について

(1) 県への意見や要望

問 36 最後に、県の生涯学習に関して、ご意見・ご要望がありましたらご記入ください。

項目	件数
生涯学習の情報提供について	26
生涯学習への意見・要望について	25
生涯学習の内容・メニューについて	23
生涯学習の認知について	18
生涯学習の場所・施設について	13
生涯学習の時間について	11
高齢者の生涯学習について	8
生涯学習の費用について	5
生涯学習へ参加する手段について	5
子育て家庭の生涯学習について	4
生涯学習の指導者について	1
アンケートについて	7
県への意見・提案・要望	9
その他	19
特になし	2
意見数計	176

県への意見や要望について、「生涯学習の情報提供について」が26件と最も多く、次いで「生涯学習への意見・要望について」(25件)「生涯学習活動の内容・メニューについて」(22件)となっている。

【主な意見】

1. 生涯学習の情報提供について

- どこから情報収集すればよいかは各個人の嗜好によると思いますが、市町村の情報と合わせた周知が出来れば、より身近に感じるかもしれないと思いました。
- 生涯学習の講座の開設の県民・市民へのアナウンスの仕方を工夫されたら良いと思います。自分が学習したい事が、どんな内容で、どこでいつ提供されるのか幅広い方法で告知されるべきだと考えます。
- インターネットを利用している人はすぐに見て理解できますが、パソコンやインターネットをやったことのない人は、生涯学習そのものを知らない人がいることも事実です。そのため周知する方法として、アナログに広報誌やチラシ、回覧的な手法を使っているいろいろな人達に知ってもらい、活用していただくことが重要だと思います。

2. 生涯学習への意見・要望について

- 参加する事により交流や人と人の繋がりを生むと思う。小規模な集まりの開催をきっかけに大きな集まりにつながっていける機会が得られると良い。同じ学習内容でも町内会単位から県単位まで、**個人が各々のレベルで考え、参加できる**と良い。
- 社会に生きる人が学びの**チャンスが得られるよう**にしてほしい。主婦であっても仕事や家事以外で吸収できる機会を増やしてほしい。

3. 生涯学習活動の内容・メニューについて

- 若者が参加**したいと思うイベントや教室があればいいと思う。**親子で参加**できるものがあると嬉しい。子供がいろいろなことに興味をもってくれたら親も嬉しいと思います。
- 今後も県内は**外国人実習生が増えそう**なので中国語、ベトナム語などの無料講座があればよいと思う。
- パソコンの使い方やインターネット**を解りやすく教えてくれる生涯学習があったらよいと思います。
- 仕事がフルだったのでなかなか日中の講座は受けられないので、**仕事をしている方々も受けることができる**夜の講座もあるといいですね。

4. 生涯学習活動の認知について

- 最近の若い人は生涯学習というものが、そもそも何なのかを知らない人が多いと思います。学ぶ機会を**高校の授業や大学の講義でも積極的に**取り入れるべきだと思います。
- 生涯学習について何も知りませんでした。今後は生涯学習に力を入れていくと思うので、県民のみなさんに知ってもらえるよう、**広報誌やインターネット、テレビのCMなど、使えるものは全て**使って成果をあげていただきたいと思います。
- 県の生涯学習に関する**事業を全く知りませんでした**。福島県のHPを確認してみましたが、どのような取り組みをされているのか、市町村が行っている生涯学習との違い等。分からない事が多くありました。

5. 生涯学習の場所・施設について

- 県の中央都市には施設用具が備えられているが、**地方の町村では、財政の差が大きく用具等の準備が少ない、または無い**。
- 展示する施設が少ない**。民間のものも利用料金が高かったり駐車場がなかったり、使い勝手が悪い。
- これからはオンラインで行えるものや閉校になった学校を含めた**公共施設を利用するものを中心**にしていった方がいいのではないかと思います。

6. 生涯学習の時間について

- 学習したいものがあるけれども、時間と曜日が限られていて難しい。
- 主婦なので、時間がある時にしか出来ないと思うので、家で好きな時間に出来る方法があると、やりやすいかと思う。
- 仕事をしている人のために、もっと学習の時間があればいいと思います。

7. 高齢者の生涯学習について

- 今後ますます高齢化社会がきます。自分の特技や資格のある人を募集し、それぞれ自分に合った生涯学習講座を見つけ、いきいきと暮らせる社会になってほしい。
- 高齢者でも楽しくやさしく学習できればいいなと思っております。
- 今後高齢者が増加し、高齢者同士の交流が減少しないように、地域でも何ができるのか何が必要か。年代とともにあわせて行く事が必要だと思います。

8. 生涯学習の費用について

- 子育てをしている世代なので自分のことにあまりお金をかけられない。安い費用で参加できると良い。
- 仕事や家事で時間が無い人でも勉強できるようなサービスを、もっと低価格で共有してほしい。
- 費用が少なく、自由に参加できる講座があれば良い。

9. 子育て家庭の生涯学習について

- 出産を機に会社を辞めたお母さん達が学びたくても子供がいて学べない状況がある。シニアボランティアの方達が側で預かるなどしてもっとお母さん達がいきいきと学べる状態を作ってほしいです。子供がいて学べないという壁を地域の皆さんで協力して越える事ができたら、虐待も減らせると思います。本当に助けなければならない人に手を差し伸べる事ができてこそ生涯学習だと思います。
- 母親も安い費用で、負担にならない時間帯で、趣味や息抜きする事ができると良いと思います。子育て世代の親達の精神衛生も大切だと思います。
- できるだけ親と子のふれ合いが出来る工夫をしてほしい。子育て中は時間がとれないので、いつでも参加出来るようにしてほしい。
- 今は自分の子育て及び仕事で精一杯。退職してからの生涯学習について充実してほしい。

10. 生涯学習へ参加する手段について

- 居住地が会津地域であるため、講座等に参加することについては、冬期間が大きな障害となります。やはり雪が降れば、積雪があれば、その施設等へ行くまでの交通手段のことを考えてしまいます。
- 車がない人、身体の不自由な人も参加できるものを期待したいです。
- 自分の家で商業・農業等を行なっているので、なかなか参加できません。
- 避難先で生涯学習をしたいと思っても難しいです。特にいわき市では避難してきた人を嫌がって受け入れてもらえません。

11. 生涯学習の指導者について

- 児童、生徒の数が少ないためか、クラブ活動の種類が少ないので、もっと指導者を増して育成してほしいと思う。

IV 使用した調査票

県民の生涯学習意識調査 調査票

<p style="text-align: center;">あなたの生涯学習意識調査</p> <p style="text-align: center;">あなたが自身のことについて</p> <p>問1 あなたの性別は男女どちらですか。 【〇は1つだけ】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">1. 男</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">2. 女</td> </tr> </table> <p>問2 あなたの年齢は何歳代ですか。(令和2年10月現在) 【〇は1つだけ】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">1. 10歳代</td> <td style="width: 20%;">5. 50歳代</td> <td style="width: 20%;">6. 60歳代</td> <td style="width: 20%;">7. 70歳以上</td> </tr> <tr> <td>2. 20歳代</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3. 30歳代</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4. 40歳代</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>問3 あなたのお住まいはどの地域ですか。 【〇は1つだけ】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">1. 東北地域 (福島市、伊達市、二本松市、木宮市、伊達郡、安達郡)</td> <td style="width: 25%;">2. 關東地域 (郡山市、須賀川市、田村市、岩瀬郡、石川郡、田村郡)</td> </tr> <tr> <td>3. 関東地域 (白河市、西白河郡、東白川郡)</td> <td>4. 北関東地域 (奈津若松市、豊多方市、耶麻郡、河沼郡、大沼郡)</td> </tr> <tr> <td>5. 南関東地域 (相馬市、南相馬市、双葉郡、相馬郡)</td> <td>7. いわき地域 (いわき市)</td> </tr> </table> <p>問4 あなたの職業は何ですか。 【〇は1つだけ】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">1. 農・林・漁業 (農業・林業・漁業の自営者)</td> <td style="width: 25%;">2. 商・工・サービス業 (小売業・飲食店・理髪店などの自営者)</td> </tr> <tr> <td>3. 自由業 (開業医・芸術家・講師・俳優・弁護士など)</td> <td>4. 農・林・漁業の家族従業者 (家業を継続的に手伝っている人)</td> </tr> <tr> <td>5. 商・工・サービスの家族従業者 (家業を継続的に手伝っている人)</td> <td>6. 自由業の家族従業者 (家業を継続的に手伝っている人)</td> </tr> <tr> <td>7. 民間企業の社員・役員</td> <td>8. 公務員・団体職員</td> </tr> <tr> <td>9. パートタイマー・アルバイト・フリーター・嘱託など</td> <td>10. 専業主婦・主夫</td> </tr> <tr> <td>11. 学生</td> <td>12. その他</td> </tr> <tr> <td>13. 無職</td> <td></td> </tr> </table>	1. 男	2. 女	1. 10歳代	5. 50歳代	6. 60歳代	7. 70歳以上	2. 20歳代				3. 30歳代				4. 40歳代				1. 東北地域 (福島市、伊達市、二本松市、木宮市、伊達郡、安達郡)	2. 關東地域 (郡山市、須賀川市、田村市、岩瀬郡、石川郡、田村郡)	3. 関東地域 (白河市、西白河郡、東白川郡)	4. 北関東地域 (奈津若松市、豊多方市、耶麻郡、河沼郡、大沼郡)	5. 南関東地域 (相馬市、南相馬市、双葉郡、相馬郡)	7. いわき地域 (いわき市)	1. 農・林・漁業 (農業・林業・漁業の自営者)	2. 商・工・サービス業 (小売業・飲食店・理髪店などの自営者)	3. 自由業 (開業医・芸術家・講師・俳優・弁護士など)	4. 農・林・漁業の家族従業者 (家業を継続的に手伝っている人)	5. 商・工・サービスの家族従業者 (家業を継続的に手伝っている人)	6. 自由業の家族従業者 (家業を継続的に手伝っている人)	7. 民間企業の社員・役員	8. 公務員・団体職員	9. パートタイマー・アルバイト・フリーター・嘱託など	10. 専業主婦・主夫	11. 学生	12. その他	13. 無職		<p style="text-align: center;">あなたの最近の生涯学習活動について</p> <p>問5 あなたはどの1年間に学んだり、習ったり、活動するなど「生涯学習」をしたことがありますか。 【〇は1つだけ】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">1. ある</td> <td style="width: 50%;">以下の問6から問11をお答えください</td> </tr> <tr> <td>2. ない</td> <td>P. 4の問12へお進みください</td> </tr> </table> <p>問6 それは次のどれですか。 【〇は1つだけ】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">1. 趣味なもの (音楽、美術、舞道、舞踊、書道など)</td> <td style="width: 25%;">2. 教養的なもの (文学、歴史、地域の歴史や文化など)</td> </tr> <tr> <td>3. 社会問題 (政治・経済・時事・国際・環境・人権の問題など)</td> <td>4. 高齢社会で必要な知識・技能 (介護、年金、福祉など)</td> </tr> <tr> <td>5. ボランティア活動・地域活動やそのために必要な知識・技能 (スポーツ指導、都市計画、点訳、手話など)</td> <td>6. 情報社会で必要な知識・技能 (パソコン、インターネットなど)</td> </tr> <tr> <td>7. 職業上必要な知識・技能 (仕事に関係する知識習得や資格取得など)</td> <td>8. 健康・スポーツ (健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など)</td> </tr> <tr> <td>9. 家庭生活に役立つ技能 (料理、洋服、和裁、編み物など)</td> <td>10. 育児・教育 (幼児教育、教育問題など)</td> </tr> <tr> <td>11. 語学 (英語、中国語、フランス語、翻訳など)</td> <td>12. 自然体験・野外活動</td> </tr> <tr> <td>13. 地域づくり (人づくり、まちづくりなど)</td> <td>14. 防災 (災害に関する基礎知識の習得、災害発生時の避難方法など)</td> </tr> <tr> <td>15. 感染症対策 (コロナウイルス対策など)</td> <td>16. その他 (具体的に:)</td> </tr> </table> <p>問7 それはどのような目的で行いましたか。 【〇は3つまで】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">1. 趣味を広げ深めるため</td> <td style="width: 25%;">2. 知識・教養を高めるため</td> </tr> <tr> <td>3. 専門的な技能や技術を身につけるため</td> <td>4. 友人・知人との親睦を深めるため</td> </tr> <tr> <td>5. 地域活動やボランティア活動のため</td> <td>6. 健康・体づくりのため</td> </tr> <tr> <td>7. 仕事や就職・転職に役立てるため</td> <td>8. その他 (具体的に:)</td> </tr> <tr> <td>9. その他 (具体的に:)</td> <td>10. 特に目的はない</td> </tr> </table>	1. ある	以下の問6から問11をお答えください	2. ない	P. 4の問12へお進みください	1. 趣味なもの (音楽、美術、舞道、舞踊、書道など)	2. 教養的なもの (文学、歴史、地域の歴史や文化など)	3. 社会問題 (政治・経済・時事・国際・環境・人権の問題など)	4. 高齢社会で必要な知識・技能 (介護、年金、福祉など)	5. ボランティア活動・地域活動やそのために必要な知識・技能 (スポーツ指導、都市計画、点訳、手話など)	6. 情報社会で必要な知識・技能 (パソコン、インターネットなど)	7. 職業上必要な知識・技能 (仕事に関係する知識習得や資格取得など)	8. 健康・スポーツ (健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など)	9. 家庭生活に役立つ技能 (料理、洋服、和裁、編み物など)	10. 育児・教育 (幼児教育、教育問題など)	11. 語学 (英語、中国語、フランス語、翻訳など)	12. 自然体験・野外活動	13. 地域づくり (人づくり、まちづくりなど)	14. 防災 (災害に関する基礎知識の習得、災害発生時の避難方法など)	15. 感染症対策 (コロナウイルス対策など)	16. その他 (具体的に:)	1. 趣味を広げ深めるため	2. 知識・教養を高めるため	3. 専門的な技能や技術を身につけるため	4. 友人・知人との親睦を深めるため	5. 地域活動やボランティア活動のため	6. 健康・体づくりのため	7. 仕事や就職・転職に役立てるため	8. その他 (具体的に:)	9. その他 (具体的に:)	10. 特に目的はない
1. 男	2. 女																																																																				
1. 10歳代	5. 50歳代	6. 60歳代	7. 70歳以上																																																																		
2. 20歳代																																																																					
3. 30歳代																																																																					
4. 40歳代																																																																					
1. 東北地域 (福島市、伊達市、二本松市、木宮市、伊達郡、安達郡)	2. 關東地域 (郡山市、須賀川市、田村市、岩瀬郡、石川郡、田村郡)																																																																				
3. 関東地域 (白河市、西白河郡、東白川郡)	4. 北関東地域 (奈津若松市、豊多方市、耶麻郡、河沼郡、大沼郡)																																																																				
5. 南関東地域 (相馬市、南相馬市、双葉郡、相馬郡)	7. いわき地域 (いわき市)																																																																				
1. 農・林・漁業 (農業・林業・漁業の自営者)	2. 商・工・サービス業 (小売業・飲食店・理髪店などの自営者)																																																																				
3. 自由業 (開業医・芸術家・講師・俳優・弁護士など)	4. 農・林・漁業の家族従業者 (家業を継続的に手伝っている人)																																																																				
5. 商・工・サービスの家族従業者 (家業を継続的に手伝っている人)	6. 自由業の家族従業者 (家業を継続的に手伝っている人)																																																																				
7. 民間企業の社員・役員	8. 公務員・団体職員																																																																				
9. パートタイマー・アルバイト・フリーター・嘱託など	10. 専業主婦・主夫																																																																				
11. 学生	12. その他																																																																				
13. 無職																																																																					
1. ある	以下の問6から問11をお答えください																																																																				
2. ない	P. 4の問12へお進みください																																																																				
1. 趣味なもの (音楽、美術、舞道、舞踊、書道など)	2. 教養的なもの (文学、歴史、地域の歴史や文化など)																																																																				
3. 社会問題 (政治・経済・時事・国際・環境・人権の問題など)	4. 高齢社会で必要な知識・技能 (介護、年金、福祉など)																																																																				
5. ボランティア活動・地域活動やそのために必要な知識・技能 (スポーツ指導、都市計画、点訳、手話など)	6. 情報社会で必要な知識・技能 (パソコン、インターネットなど)																																																																				
7. 職業上必要な知識・技能 (仕事に関係する知識習得や資格取得など)	8. 健康・スポーツ (健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など)																																																																				
9. 家庭生活に役立つ技能 (料理、洋服、和裁、編み物など)	10. 育児・教育 (幼児教育、教育問題など)																																																																				
11. 語学 (英語、中国語、フランス語、翻訳など)	12. 自然体験・野外活動																																																																				
13. 地域づくり (人づくり、まちづくりなど)	14. 防災 (災害に関する基礎知識の習得、災害発生時の避難方法など)																																																																				
15. 感染症対策 (コロナウイルス対策など)	16. その他 (具体的に:)																																																																				
1. 趣味を広げ深めるため	2. 知識・教養を高めるため																																																																				
3. 専門的な技能や技術を身につけるため	4. 友人・知人との親睦を深めるため																																																																				
5. 地域活動やボランティア活動のため	6. 健康・体づくりのため																																																																				
7. 仕事や就職・転職に役立てるため	8. その他 (具体的に:)																																																																				
9. その他 (具体的に:)	10. 特に目的はない																																																																				

【問5で、「1. ある」とお答えになった方にお聞きします。】

問8 それほどの方法で行いましたか。

【あてはまる番号すべてに○】

1. 本やテレビ・ラジオを利用して
2. 放送大学・通信教育を利用して
3. インターネットやパソコン通信など情報ネットワークを利用して
4. 講座や教室、研究会などに参加して（職場・公共施設・民間・学校など）
5. 同好のサークル・クラブや友人・知人・家族と一緒に
6. 個人的に先生について
7. Facebook や Twitter などの交流サイト（SNS）
8. YouTube などの動画共有サービス
9. その他（具体的に： _____ ）

【問5で、「1. ある」とお答えになった方にお聞きします。】

問9 それほどのような施設（場所）を利用して行いましたか。

【あてはまる番号すべてに○】

1. 公民館・図書館などの公共施設
2. 大学・短大・高校・中学校・小学校、専修学校・各種学校
3. 民間のカルチャーセンター・塾・教室
4. 職場内の施設・研修施設
5. スポーツ施設・公園・自然の中
6. 自宅
7. その他（具体的に： _____ ）

【問5で、「1. ある」とお答えになった方にお聞きします。】

問10 身につけた知識・技能や経験をどのように活かしていますか。

【○は3つまで】

1. 仕事や就職の上で活かしている
2. 資格を取得した
3. 日常生活や地域での活動に活かしている
4. 知識・技能や経験を土台にして、さらに広く、深い知識・技能を身につけるよう努めている
5. 他の人の学習やスポーツ、文化活動などの指導に活かしている
6. 自分の生きがいになっている
7. 自分の健康の維持・増進に役立っている
8. その他（具体的に： _____ ）
9. 活かしていない
10. わからない

【問5で、「1. ある」とお答えになった方にお聞きします。】

問11 あなたが生涯学習をする上で、困っていることは何ですか。

【○は3つまで】

1. 仕事や家事などが忙しくて時間が無い
2. 子どもや親の世話をしてくれる人がいない
3. 講座などの開講時間が適当でない
4. 費用がかかりすぎる
5. 身近に適切な施設や場所が少ない
6. 自分の希望に合う講座等が少ない
7. 必要な情報が手に入りにくい
8. 一緒に学習や活動をする仲間が少ない
9. 適切な講師や指導者が少ない
10. 家庭や職場の理解や協力が得られない
11. その他（具体的に： _____ ）
12. 特にない

【問5で、「2. ない」とお答えになった方にお聞きします。】

問12 その理由は何ですか。

【○は3つまで】

1. 仕事や家事などが忙しくて時間が無い
2. 子どもや親の世話をしてくれる人がいない
3. 講座などの開講時間が適当でない
4. 費用がかかりすぎる
5. 身近に適切な施設や場所がない
6. 自分の希望に合う講座等がない
7. 必要な情報が手に入らない
8. きっかけがつかめない
9. 一緒に学習や活動をする仲間がいない
10. 適切な講師や指導者がいない
11. 家庭や職場の理解や協力が得られない
12. 生涯学習をする必要性を感じない
13. その他（具体的に： _____ ）
14. 特に理由はない

今後の「生涯学習」に関するご意見

問 13 これからの社会において、学習分野として行政が力を入れるとしたらどの分野だと思いますか。

【あてはまる番号すべてに○】

- 1. 国際理解や交流
- 2. 高齢化などの環境問題
- 3. 高齢化・介護
- 4. 健康・福祉
- 5. 人権・男女共同参画
- 6. 家庭教育
- 7. 少子化・子育て問題
- 8. 消費者問題
- 9. 政治・経済
- 10. 情報・インターネット
- 11. ボランティア
- 12. 地域づくり（人づくり・まちづくり）
- 13. 防災
- 14. 感染症対策
- 15. その他（具体的に： ）
- 16. 特にない

問 14 あなたは、今後、どのような生涯学習をしたいと思いますか。

【あてはまる番号すべてに○】

- 1. 趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道など）
- 2. 教養的なもの（文学、歴史、地域の歴史や文化など）
- 3. 社会問題（政治・経済・時事・国際・環境・人権の問題など）
- 4. 高齢社会に必要な知識・技能（介護、年金、福祉など）
- 5. ボランティア活動・地域活動やそのために必要な知識・技能（スポーツ指導、都市計画、点訳、手話など）
- 6. 情報社会に必要な知識・技能（パソコン、インターネットなど）
- 7. 職業に必要な知識・技能（仕事に関係ある知識習得や資格取得など）
- 8. 健康・スポーツ（健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など）
- 9. 家庭生活に役立つ技能（料理、洋裁、和裁、編み物など）
- 10. 育児・教育（幼児教育、教育問題など）
- 11. 語学（英語、中国語、フランス語、翻訳など）
- 12. 自然体験・野外活動
- 13. 地域づくり（人づくり、まちづくりなど）
- 14. 防災（災害に関する基礎知識の習得、災害発生時の避難方法など）
- 15. 感染症対策（コロナウイルス対策など）
- 16. その他（具体的に： ）
- 17. 特にしたいものはない ⇒問 17へお進みください

問 15～問 16へお進みください

【問 14で、「1」～「16」に○をつけた方にお聞きします。】

問 15 あなたは、今後、生涯学習をすすらしたらの時間帯を希望しますか。

【○は3つまで】

- 1. 平日の早期
- 2. 平日の午前
- 3. 平日の午後
- 4. 平日の夜間
- 5. 土曜の早期
- 6. 土曜の午前
- 7. 土曜の午後
- 8. 土曜の夜間
- 9. 日曜・祝日の早期
- 10. 日曜・祝日の午前
- 11. 日曜・祝日の午後
- 12. 日曜・祝日の夜間
- 13. 春・夏・秋・冬の長期休暇中
- 14. その他（具体的に： ）

【問 14で、「1」～「16」に○をつけた方にお聞きします。】

問 16 あなたは、現在および今後、生涯学習にどのくらい費用をかけられますか。

1. か月平均でお答えください。

	3,000円未満	3,000円以上 5,000円未満	5,000円以上 10,000円未満	10,000円以上 費用は かけられない
現在	1	2	3	4
今後	1	2	3	4

【現在および今後についてそれぞれ○は1つまで】

あなたが住む地域における「生涯学習」について

問 17 あなたは、自分が住んでいる地域や県内で受けることのできる「生涯学習」について内容や費用、施設、時間帯に満足していますか。市町村や県、学校などの公的機関による「生涯学習」と、企業やカルチャーセンターなどの、民間による「生涯学習」とに分けてお答えください。

【各項目について○は1つずつ】

<公的機関による生涯学習について>

	十分 満足できる	まあまあ 満足できる	あまり 満足できない	全然 満足できない	わからない
内容	1	2	3	4	5
費用	1	2	3	4	5
施設	1	2	3	4	5
時間帯	1	2	3	4	5

<民間による生涯学習について>

	十分 満足できる	まあまあ 満足できる	あまり 満足できない	全然 満足できない	わからない
内容	1	2	3	4	5
費用	1	2	3	4	5
施設	1	2	3	4	5
時間帯	1	2	3	4	5

問 18 あなたが生産学習をする上で、市町村や県などの行政にどのようなことを期待しますか。

【あてはまる番号すべてに○】

1. いろいろな学習やスポーツ・文化活動、ボランティア活動などの情報をもっと充実してほしい
2. 生産学習について相談できる窓口や専門的な職員を置いてほしい
3. 成果を発表する機会や活用する場を提供してほしい
4. 料金を下げたり、利用時間を長くするなど、既にある施設を利用しやすくしてほしい
5. 地域の特徴をいかした学習施設を増やしてほしい
6. 講座や教室、イベントの種類や回数を増やしてほしい
7. いろいろな分野のすぐれた指導者や講師を増やしてほしい
8. その他（具体的に：)
9. 特に希望はない

問 19 あなたが生産学習をする上で、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校または教員に対してどのようなことを期待しますか。

【○は3つまで】

1. 校庭や体育館、プールなどスポーツ施設を利用したい
2. 図書館を利用したい
3. 音楽室や家庭科の実習室、パソコンルームなどを利用したい
4. 普通教室を利用したい
5. 教員が講師となって地域住民を対象とした講座や講習会などを聞いてほしい
6. 自分の生産学習活動の成果を役立てるために、教科、クラブ活動等の指導を行いたい
7. その他（具体的に：)
8. 特にない

問 20 あなたが生産学習をする上で、カルチャーセンターなどの民間の事業者に対してどのようなことを期待しますか。

【あてはまる番号すべてに○】

1. 講座や教室などの情報をもっとたくさん提供してほしい
2. 講座や教室などの参加費用を安くしてほしい
3. 講座や教室などのメニューを増やしてほしい
4. 講座や教室などの開催時間を柔軟にしてほしい
5. 講座や教室などの開催する地域を広げてほしい
6. インターネットやテレビ電話などを活用して、自宅などでもサービスを受けられるようにしてほしい
7. その他（具体的に：)
8. 特にない

問 21 あなたが生産学習をする上で、企業に対してどのようなことを期待しますか。

【あてはまる番号すべてに○】

1. グラウンドや体育館、テニスコートなどのスポーツ施設を利用したい
2. 地域住民を対象とした研修会や講座などを開催してほしい
3. 社員のボランティア活動を奨励してほしい
4. パソコンや書籍など、不要になったものを住民に提供してほしい
5. フレックスタイム制の導入や休暇制度の充実など、従業員が学習活動に使える時間を増やしてほしい
6. 資格取得に対する表彰や費用の補助など、従業員の生産学習活動を積極的に奨励してほしい
7. その他（具体的に：)
8. 特にない

問 22 あなたは、大学、短期大学などで行われる公開講座やセミナーでは、どのような内容を希望しますか。

【あてはまる番号すべてに○】

1. 大学院や大学レベルの高度で専門的な内容の講座
2. 日常生活に活かせる実用的な講座
3. 経済・社会などの最新の動向について、わかりやすく解説する講座
4. 資格取得のための講座
5. 地域や県の歴史・文化・風土などを研究する講座
6. その他（具体的に：)
7. 特にない

生産学習を通して学んだことの評価について

問 23 あなたは、生産学習を通して身につけた知識や技能などを社会的に評価されることについて、どう思いますか。あなたの考えにちつとも近いものを1つだけあげてください。

【○は1つだけ】

1. 何らかの形で、すべて社会的に評価するのが望ましい
 2. 一定水準以上のものを社会的に評価するのがよい
 3. 評価すべきものと、すべきでないものがある
 4. 社会的に評価すべきではない
 5. わからない
 6. その他（具体的に：) ⇒
- 問 24 へお進みください
問 26 へお進みください
問 24 へお進みください

【問 23 で、「1」、「2」、「3」、「6」のいずれかに○をつけた方にお聞きします。】

問 24 その評価は、どのような形で行うのがよいと思いますか。

【あてはまる番号すべてに○】

1. 資格取得の際に、学習成果を考慮する
2. 修了証、認定証などを出す
3. 会社等において、個人の処遇に反映させる
4. 特によく生涯学習に取り組んだ人を表彰する
5. 市民大学や町民大学などで単位として認定する
6. 地域の人々の学習やスポーツ、文化活動などの指導者や講師として活用する
7. 生涯学習の成果を表彰する機会（発表会、作品展、発表会、作品展 ⇒ 問 25 へお進みください
会など）を設ける
8. 同種の講座などに参加する際に、一部受講免除などの特典を与える
9. その他（具体的に：)
10. わからない

【問 24 で、「7」に○をつけた方にお聞きします。】

問 25 学んだ成果を発表する機会はあるか、どのような形でお聞きしますか。

【○は1つだけ】

1. 県全体の発表会、大会などを定期的に開催する
2. 地域で発表会、大会などを定期的に開催する
3. 県民が自由に成果を発表できる場や機会を公共施設や学校などに設ける
4. 学んだことを活かす機会が講座内に組み込まれている
5. 市町村の広報誌などに成果を掲載する
6. その他（具体的に：)
7. わからない

生涯学習に関する情報の入手方法について

問 26 あなたは現在、生涯学習についての情報などの程度得ていると思えますか。

【○は1つだけ】

1. 十分得ている
2. ある程度は得ている
3. あまり得ていない
4. 全く得ていない

【問 26 で、「1」、「2」、「3」のいずれかに○をつけた方にお聞きします。】

問 27 あなたは、その情報を主に何で得ていますか。

【あてはまる番号すべてに○】

1. 県・市町村の広報誌
2. 公民館・図書館などの広報誌やパンフレット
3. 公共施設に設置された相談窓口
4. 民間の情報専門誌・ガイドブック
5. 新聞・雑誌（民間の情報専門誌以外のもの）
6. テレビ・ラジオ・有線放送
7. インターネット
8. 自治会・町内会の回覧や地域住民の連絡
9. 職場の機関誌、掲示板、パンフレット
10. チャリン・ポスター
11. 近所の人や友人・知人
12. クラブ・同好会・学校（PTA）
13. Facebook や Twitter などの交流サイト（SNS）
14. YouTube などの動画共有サービス
15. その他（具体的に：)
16. わからない

問 28 あなたは、県の「生涯学習情報提供システム（愛称：県民カレッジ）」を利用していただけますか。

【○は1つだけ】

1. よく利用している
 2. 時々利用している
 3. 知っているが利用することがない
 4. 知らないで利用したことがない
- ⇒ 問 29 へお進みください

【問 28 で、「1」、「2」、「3」のいずれかに○をつけた方にお聞きします。】

問 29 県の生涯学習情報提供システムに、どのような印象を受けますか。

【○は1つまで】

1. 使いやすい（理由：)
2. 使いにくい（理由：)
3. 特になし

問 30 あなたは、インターネットをどのくらい利用していますか。

【○は1つだけ】

1. ほぼ毎日利用している
2. 時々利用している
3. 現在は利用していないが、今後は利用したい
4. 現在は利用していないし、今後特に関心はない

【問 30 で、「3」、「4」のいずれかに○をつけた方にお聞きします。】

問 31 現在、インターネットを利用していない理由は何ですか。

- 【あてはまる番号すべてに○】
1. 利用の仕方がわからない
 2. パソコンを持っていない
 3. 通信費用が高い
 4. 利用する時間や暇がない
 5. その他（具体的に：)
 6. 特に理由はない

【問 30 で、「1」、「2」のいずれかに○をつけた方にお聞きします。】

問 32 あなたが、今後、生涯学習をするとき、必要だとと思われる情報（内容）は何ですか。

- 【あてはまる番号すべてに○】
1. 学級・講座の開設の時期・場所・内容
 2. 行事やイベントの開設の時期・場所・内容
 3. 学習活動・スポーツ活動などに利用できる施設
 4. 学習や趣味・スポーツなどの団体やサークル
 5. 講師や指導者の情報や依頼方法
 6. 学習活動に必要な教材等を入手できる場所や手続き
 7. 資格や免許の種類や取得方法
 8. 学習活動に必要な費用
 9. その他（具体的に：)
 10. 特にない

問 33 あなたは、eラーニング（パソコンやインターネット等を使った学習）をしたことがありますか。

- 【○は1つだけ】
1. はい ⇒ 問 34 お進みください
 2. いいえ ⇒ 問 35 へお進みください

【問 33 で、「1、はい」とお答えになつた方にお聞きします。】

問 34 eラーニングを使って何を学習しましたか。

- 【あてはまる番号すべてに○】
1. 趣味的なもの（音楽、美術、書道、舞踊、書道など）
 2. 教養的なもの（文学、歴史、地域の歴史や文化など）
 3. 社会問題（政治・経済・時事・国際・環境・人権の問題など）
 4. 高齢社会で必要な知識・技能（介護、年金、福祉など）
 5. ホラニア活動、地域活動やそのために必要な知識・技能（スポーツ指導、都市計画、点訳、手話など）
 6. 情報社会で必要な知識・技能（パソコン、インターネットなど）
 7. 職業上必要な知識・技能（仕事に関係のある知識習得や資格取得など）
 8. 健康・スポーツ（健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など）
 9. 家庭生活に役立つ技能（料理、洋服、和裁、編み物など）
 10. 育児・教育（幼児教育、教育問題など）
 11. 語学（英語、中国語、フランス語、翻訳など）
 12. 自然体験、野外活動
 13. 地域づくり（人づくり、まちづくりなど）
 14. 防災（災害に関する基礎知識の習得、災害発生時の避難方法など）
 15. 感染症対策（コロナウイルス対策など）
 16. その他（具体的に：)

問 35 あなたが、今後、生涯学習をするのに必要な情報は、どのような方法によって得ようと思えますか。

- 【あてはまる番号すべてに○】
1. 県・市町村の広報誌
 2. 公民館・図書館などの広報誌やパンフレット
 3. 公共施設に設置された相談窓口
 4. 民間の情報専門誌・ガイドブック
 5. 新聞・雑誌（民間の情報専門誌以外のもの）
 6. テレビ・ラジオ・有線放送
 7. インターネット
 8. 自治会・町内会の回覧や地域住民の連絡
 9. 職場の機関誌、掲示板、パンフレット
 10. チャリン・ポスター
 11. 近所の人や友人・知人
 12. クラブ・同好会・学校（PTA）
 13. Facebook や Twitter などの交流サイト（SNS）
 14. YouTube などの動画共有サービス
 15. その他（具体的に：)
 16. 特にない

問 36 最後に、県の生涯学習に関して、ご意見・ご要望がありましたらご記入ください。

--

質問は以上です。
多数の質問にご協力いただきありがとうございました。

福島県 県民の生涯学習意識調査
調査結果報告書

令和3年3月発行

福島県 企画調整部文化スポーツ局生涯学習課

〒960-8670 福島県福島市杉妻町2番16号

電話 024-521-7404